

梅乃木彬夫 著

鬼滅の刃はドグラ・マグラ ①

ドグラ・

マグラの

謎を解く…の巻



扉のイラストは筆者の知り合いの小学生に書いてもらった。

## 「目次」

プロローグ 7

## 第1章 鬼滅の刃を迎えて解く

---

眼醒め 10

心証 23

ジョジョの奇妙な予告 29

隙の糸 36

竈門炭治郎 43

禰豆子とモヨ子 53

悲劇の兄妹 64

萌え 71

傑作の鉾脈 74

ウィキペディア評 84

アンサイクロペディア評 90

時代ギャップ 93

未曾有の危機 100

古今未曾有式超特急 103

鬼滅の刃を迎えて解く 109

## 第2章 迷宮からの脱出

六大前提 116

ドグラ・マグラの用語 120

主要登場人物 127

あらすじ 〈23時間編〉 132

あらすじ 〈千百余年編〉 137

ドグラ・マグラの時間の流れ① 148

ドグラ・マグラの時間の流れ② 159

ドグラ・マグラの時間の流れ③ 165

ドグラ・マグラの入れ子構造の謎解き① 167

ドグラ・マグラの入れ子構造の謎解き② 169

ドグラ・マグラの入れ子構造の謎解き③ 174

ドグラ・マグラのその後の世界 181

一ヶ月周期説の肯定サイクル 185

さらなる謎解き 189

付論1 ブ……ンと、ブ——ン  
柱時計の時鐘のオノマトベ 192

付論2 エンディングは  
二重の意味でのフラッシュバック 196

付論3 脳髓の迷宮やぶり 203

◎巻末綴じ込み表（ドグラ・マグラの時間の流れの図解／ドグラ・マグラは円環する物語だったのだろうか）

① ドグラ・マグラの謎を解く…の巻



## プロローグ

当時のこと……ですか、先生？

僕は呉一郎くれいちろうですから、記憶を失っていて何も憶えていません。

でも、大正15年の11月20日のことだけはよく憶えています。

あの日の晩は、とつても月が綺麗だったから……。

それに、推理すれば大抵のことは分かるので大丈夫です。

先生のこと誰だかチャント分かっています。

だから心配されなくてもいいですよ、博士。

……アハハハハ……。

## 本書の登場人物

I…『ドグラ・マグラ』を読了後に精神に異常をきたし、自分をドグラ・マグラの主人公「呉一郎」くれいちろうだと信じきっている平成生まれの患者。九州大病院の精神科病棟第七号室に入院中の稀代の美少年で、ドグラ・マグラに関する数々の推理を語りだす本作の主人公。

W…『ドグラ・マグラ』を読了後に精神に異常をきたし、自分をドグラ・マグラの作中人物「若林鏡太郎」わかばやしきょうたろうだと思い込んでいる患者。主人公Iとは同部屋で、諸事万端ドグラ・マグラに結び付けた言動をする傾向の多い、マンガ好きの中年の入院患者。

## 第 1 章

---

# 鬼滅の刃を迎えて解く

「神の手」の彫刻、背景は九大病院



## 眼醒め

△△△ 柱時計 ▼▼▼……………ブウウ——シンシン——シンシン……………。

I … 私は嬉しい。『ドグラ・マグラ』の由来を書いていい時機が来たから……。

W ……………ムニヤムニヤ……………左様ですとも。……………いよいよ、時節到来で御座います！

ムニヤムニヤムニヤムニヤムニヤ……………ムニヤムニヤムニヤムニヤムニヤムニヤ

……………ん？……………オヤ？

I … ああ、お眼醒め(1)になられましたか、教授……………。何か譚言(2)を仰(3)つておられたようですが。

W ……………。

I … おはようございます、若林教授。教授にまた、こちらの世界でお目にかかるうとは……………。ここは、「嬉しいな」と申しておいた方がよろしいのでしようね。

W … ハテ？ 私は……………いったい……………。

I…どうです？ この僕が誰だか、おわかりですか？

W…貴方様は……その面差し、あの方と……目鼻立ちが生き写しでいらっしやる、そのお姿は……。

I…アハハ……。

W………否、……よもや貴方様は、正木先生の学術実験「狂人の解放治療」で、最貴重なる研究材料として、御身を提供しておられた……第七号室の、あの……？

I…そうです！ 大正15年7月7日の昼日中に正木博士に解放治療場に連れてこられて以来、附属病院の「精・東・第一病棟」の七号室にずっと収容されていた「私」ですよ、ワタシ。「私」はあの精神病の治療場の中に少なくとも5ヶ月間……イヤ、僕の推理が正しければ、足掛け6ヶ月間は閉じ込められっぱなしだったはずですからね。

でもまあ、そんな昔のことはともかく、この「私」のことを忘れずにいてくださって良かった。

皮肉抜きで、再びお目にかかれて嬉しいですよ！

W…あのう……此処は……？

I…ここは、九大医学部が所管する精神科病棟の第七号室ですよ、教授。若林教授がお眼醒めとあれば、僕もせっかく筆を執り始めたこの「書き物」を、しばし脇に退けておかねばなりませんかね……。

W………九大医学部!? 何故、九州帝国大学の病室なんぞに、この私が……。

I…違いますよ、若林教授。「帝国」は余計です。九州帝国大学ではなく、九州大学の病室<sup>②</sup>です、

ここは。

W…:……?…?…?

I…チヨット信じられないかも知れませんが、かつての大日本帝国は今では「日本」という国号で呼ぶのが普通なのです。ですから、ここ九州の国立大学も「九州大学」というサツパリとした名称に改まっています。

まあ、僕らが見知っていた大正時代からはズイブンと時間が経ちましたからねえ……。戸惑われるのも仕方ないでしょうが……。

W…何やら、病院の建物の様子や病室内の機器、それに窓外そとの雰囲気なども私奴わたしめが見知っておったものとは激変しておるのですが、今は大正何年で御座いますかな？

I…エエツト……実は今は大正ではなく、令和という時代なのです。

W…れい…わあ……? アアアア 年号がア!! 年号が変わっている!!

I…教授に分かりやすく計算し直していうと、今は大正110年です。

W…まただ!! また!! 私がこんな所に閉じ込められている間に アアアア!!

I…ああ……:……どうやらイロイロ思ひ出してこられたようですね……:……ヨカッタ。僕らが見知っていた大正時代から、モウかれこれ95年の歳月が過ぎていきますからね。そりゃあ、元号も、二回や三回は変わりますよ、教授。僕は若林教授より少しばかり早くこちらの世界で眼醒めたみたいなので、令和時代について多少は詳くわしくなりましたが、やはり一世紀近くも時代が過ぎたとすると、いろいろ

と変化していることも多いみたいですね。チョットした浦島太郎サンですよ、僕たちは。

W ……………。

I …そんな中でも、殊ことに活動写真技術の進歩ぶりには、正直いって目を瞠みはるものがあるのですよ、教授。

W ……………カツドウ？ 活動……写真が、どうかしたのですか？

I …驚かないで下さいよ、若林教授。なんと、あの正木博士が「空前絶後の遺言書」の中で予言しておられた「天然色、浮出し、発声映画」が、令和の世では既に実用化されているのです！

W …なんですと!! 正木先生が……、

映写致しまする器械は、最近、九大、医学部に於おきまして、眼科の田西博士と、耳鼻科の金壺教授とが、正木博士と協力致しまして、医学研究上の目的に使用すべく製作されましたもので、実に精巧無比……目下米国で研究中の発声映画などはトーキー及ばない……画面と実物とに寸分の相違もないところにお眼止めあらむ事……

……などと、「トーキー③」と「遠く」を引っ掛けて、洒落しゃれつ気タップリに嘯うそいておられた夢の映像技術が遂ついに完成しておるのですか？ それでは、その……れ、れい、わあ、の世の人々は活動写真を白黒の銀幕ではなく、色付きのカラースクリーンで鑑賞して、台詞せりふも字幕を目で追うことなく、

俳優の声を自分の鼓膜で直に聴くことが出来るのですか？

I…ハイ、その通りです。夢のようでしょう!? さらに、電話も一家に一台どころか一人一台で衣囊に忍ばせて歩くような、僕らからしたら、途轍もない未来空間なのですよ、この令和の世は……。さらに、さらに、もう一つ驚いたことには、僕らの生きていた世界は、どうやら夢野久作という名の小説家が書いた幻魔怪奇探偵小説『ドグラ・マグラ』として、一冊の本の中に封じられているようなのです。

W…幻魔怪奇探偵小説ですと……。あの「ドグラ・マグラ」が、ですか？

「ドグラ・マグラ」ならばあの当時、九州帝大精神病学教室の標本室に入院患者の手書き原稿が保管してありました。ですから、大正15年には私は読み終えておりましたが、貴方様は……。あの当時はまともにお読みになっておられなかったはずでは？

I…確かにあの当時、僕は「ドグラ・マグラ」を通読してはいませんでしたが、コッチの世界で眼醒めた後に、改めて夢野久作の『ドグラ・マグラ』を全文読んでみたのです。こちらの世界では『ドグラ・マグラ』は、全国の図書館はもちろんのこと、普通に日本各地の書店の棚に並んでいて、僕らが生きたあの幻魔術的な大正15年11月20日の丸一日の出来事が上下巻の探偵小説として、何やら卑猥なカバー絵付きの袖珍本となって、合計1276円のお手頃価格で売られておりました。ちなみに、大正当時の1276円は大金でしたが、今では石村萬盛堂の塩豆大福9個分ぐらいの値段ですから、どうぞご安心を！ この僕自身が主人公であるところの『ドグラ・マグラ』は、今や日

本探偵小説の三大奇書呼ばわりで、どちらかといえれば割と安価な袖珍本、あらため文庫本と相成っておりまますから。

W…三大貴書、文庫本……ちよつとナンのことやら、私にはよく分かりませんな。

I…ですから、若林教授が読まれたドグラ・マグラは仰おっしゃるとおり、九州帝大で精神病の入院患者が書いた「ドグラ・マグラ」なのです。対して、僕がお手頃価格の文庫本で読んだドグラ・マグラは夢野久作が書いた小説『ドグラ・マグラ』で、その小説の中に精神病患者が書いたとされる「ドグラ・マグラ」が出てくるのです。つまり、夢野久作の『ドグラ・マグラ』という小説では、小説の中に同じ「ドグラ・マグラ」という標題タイトルの手書き原稿が登場してくるといふ二重構造になっているのです。

W…要は、同じ標題のドグラ・マグラでも作者が違うということですか？

I…ハイ。その通りです。

W…標題が同じということは、書かれている内容も同じなのですか？

I…僕は、九大の入院患者が書いていた方の「ドグラ・マグラ」をほとんど読んでいませんから、そこは何ともいえないのですが、その辺りあたりのことをこれから一緒に調べてみましょうか。……今から僕が教授をコッチの世界にご案内して差し上げますから、一緒に図書館にでも出かけてみませんか？　そこで『ドグラ・マグラ』や夢野久作全集の中の主だった作品を読破はやりしてみようではありませんか。そのあとで、ついでに令和時代の社会見学も兼ねて、今、一番流行はやりの映画鑑賞とシヤレ込

んでみましようよ！

W…流行の映画……で御座いますか？ ロンチエニー主演の『ノートルダムの僇僕男』や『殴られる彼奴』、夢遊病患者チエザーレが主役の『カリガリ博士』などよりも人気がある活動写真なのでしようか、その「天然色、浮出し、発声映画」は……。

I…もちろん！ 只今、絶賛上映中の人気アニメ映画『劇場版 鬼滅の刃 無限列車編』は、きつと教授のご期待を裏切らない映画作品のはずですよ。本作品はその余りの人気ぶりから一種の社会現象となっていて、映画上映を記念して劇中に登場する蒸気機関車と同じ「無限」のヘッドマークを付けた「無限列車」仕立ての臨時列車「SL鬼滅の刃」が博多駅に到着した時には、鬼滅の扮装をした大勢のファンたちが出迎えたというくらいの大人気映画なのですからね。

W…博多駅のプラットフォームに蒸気機関車が、ですか？ 95年の歳月を経ておれば鉄道技術も少しは進歩しておるかと思っただのですが、博多はやはり、相も変わらぬ帝国边境の街といった処ですか……。せめて九州の中心都市・熊本ならば、電気で走行する鉄道車両も夢ではなかったのかも知れませんが……。

I…もう、説明がイチイチ面倒なので……、鉄道や博多に関する若林教授の誤った認識はとりあえずはそのままでも結構です。今から街を出歩いてみれば、「百聞は一見にしかず」でしょうから。

W…それでは、これから天神町の図書館に立ち寄って夢野久作というものの書きの主な作品を読破して、その足で『鬼滅の刃』の映画鑑賞に「イザ、中洲へ！」……ということなのですな。

ああ、なにやら<sup>まぶた</sup>瞼の裏に、あの華やかな東中洲の情景が浮かんで参りますなあ……。活動写真館なら世界館に電気館、喜楽館に友楽館で御座いましょうか？ それとも川<sup>かわ</sup>丈<sup>じょう</sup>座にバッテン館……。

いろいろと思い出して来ましたぞ、巨大な四角いビルディングの玉屋百貨店に九州劇場！

I…ああ、ご存知なかったのでしたね。中洲の映画館はもう、大洋映画劇場の他はあらかた潰<sup>つぶ</sup>れて無くなりましたよ。代わりに、今では昔の出来<sup>でき</sup>町<sup>まち</sup>にあった博多駅舎から南東に500メートルほど移転して開業した博多駅ビルの9階に新しい映画館がありますから、そちらで観てみましようかね。では、教授。まずは図書館で夢野作品から制<sup>せい</sup>覇<sup>ぱ</sup>しまししようか！

W…はあ……。まあ、行き先は何<sup>ど</sup>処<sup>こ</sup>でも構いませんが……。

I…それじゃあ、まずはコレを付けて下さいな。この令和の世界では、コレがないと図書館ひとつ入館できない世<sup>せ</sup>知<sup>ち</sup>辛<sup>が</sup>い世の中となっているのですからね。

W…コレとは？

I…決まっているじゃないですか、マスクですよ、マスク！ 令和の現在では、大正時代に流行<sup>は</sup>っ<sup>や</sup>たスペイン風邪のような新型コロナウイルスの感染<sup>かん</sup>爆<sup>ぱく</sup>発<sup>はつ</sup>の真<sup>ま</sup>っ<sup>ち</sup>最<sup>さい</sup>中<sup>ちゅう</sup>でして、街に出かける際のエチケットとしてマスクは必需品なのですよ。もともと、この疫病<sup>えき</sup>が<sup>が</sup>蔓<sup>まん</sup>延<sup>えん</sup>する前から、スギ花粉の飛散やら大陸から風に乗って福岡の街に流れ込む黄砂や工場排煙の微粒子などで元々マスクが手放せない博多っ子も多かったのですが……。

W…左様で御座いますか……。令和の未来都市も、存<sup>ぞん</sup>外<sup>がい</sup>に良い事ばかりではないのですなあ。

I…まあ、福岡は大陸に近いですからね。たぶんこれも、腐海かいかいの畔ほとりに生きる者の定めなのかも……。  
W……腐海8? はて、クリミアにあったアゾフ海の入江かナニかの事で……。

I…イヤ、なんでもないです。さてと……ゴホン!

なお、今日の若林教授のスケジュールは、あくまで夢野久作の主立った作品の読破が第一で、映画鑑賞はそのあとのお楽しみですから、どうぞその点は覚悟しておいてくださいね。それでは、今から例の九大医学部の正門9を飛び出して、福岡県立図書館まで出発です!

W…わかりました。これから天神町駅てんしんちのちやうの隣りにある、福岡県立図書館まで参るのですな?

I…またまた! 違いますよ。天神町駅は今ではすっかり建て替わって西鉄福岡天神駅になっていますし、その隣りにあった県立図書館なんて、早良郡脇山村さわら わきやまと朝倉郡の地方事務所に分散疎開そかいさせていた約8000点の貴重文書もんじゆ以外は、アメリカ軍の空襲爆撃で松柏館書店版『ドグラ・マグラ』の初版本も含む16万冊の蔵書もろとも焼け落ちてしまったのですから……。

そういつた訳で、県立図書館は元々あった天神町から、西新にしじんの修猷館校舎内の復興仮事務所を経て、東公園内に設けられた新館に移り、そこから、一回目の東京オリピックの頃に須崎公園内の福岡県文化会館図書部に一時移転して、その後、箱崎はこさきにあった九州造形短期大学の跡地に移転したのです。ですから今はこの九大病院とはご近所の、歩いてチョットの場所にあるんですよ!

W…貴方様が何を云われておられるのか、私奴にはサッパリ訳が分からないのですが……。

I…そうかあ……そうでしたね。若林教授に分かりやすく説明するためには何ていえばいいか……。

そうだ、箱崎はこだぎの網屋町あみやちようにあった斎藤寿八教授のお宅なら憶えておられますか？ ホラ、路面電車の工事中に狢犬こまいぬのような巨大な犬神の頭骨が出土したのを祀まつったという、高麗犬地蔵こまいぬじそうのある辺りですよ。そのスグ近くに県立図書館が移って来ているといったら、お分かりになりますでしょうか？

W…まあ……。それならば、何とか……………。

I…よし。では問題ないですねッ！ 外出許可は僕がナースステーションで取りますから、それから新生・福岡県立図書館まで出発進行です!!

### ^^^数時間後^^^

I………サテと、お次は映画館ですね。

ときに教授、今しがたまで利用された令和時代の福岡県立図書館のご感想は如何いかがでしたか？

W…思っておったよりも古めかしい感じと申しますか……。でも、マア、それはイイでしょう。

とところで……貴方様は私が夢野作品を読破しておる間にナニをなさっておいでだったのですか？  
ずうっと3階の郷土資料室に籠こもっておられたようですが……。

I…マア、ちよっとした調べ物ですよ。あそこには世界に二つと無い貴重なお宝が眠っていますからね……。病院の院長先生に紹介状を書いていただいておりますので、今日も資料室の書庫から引っ張り出してもらって拝見していただくのです。

W…左様で御座いましたか……。

I…ところで如何いかです、教授の方の首尾は？ 精神病患者が書いた「ドグラ・マグラ」と、夢野久作が執筆した『ドグラ・マグラ』は、同じ内容でしたか？

W…その件につきましては、両者ともに大変な分量の物語ではありませんでしたが、おそらく……。

I………おそらく？

W…一言一句……マッタク同じでした！

### 注解

(1) めざめる(自下一)には「目覚める」「眼醒める」の表記があるが、本書では一日のうちで最初に目をさました場合は「眼醒め(る)」とし、同日中で二回目以降に目をさました場合には「目覚め(る)」として、両者の表記を区別する。筆者は、初回の眼醒めのタイミングと二回目以降の目覚めの回数を、ドグラ・マグラの読み解きのために重視しているからである。

(2) 現在の九州大病院(通称、九大病院)は、戦前の九州帝国大学医学部附属医院の流れをくむ大病院。時代が移り名称や建物こそ変わったものの、九州大学医学部ともども「伊都いキャンパス」へ移転することなく、今も当時のままの場所で設置・運営がなされている。「病院キャンパス」内にそびえ立つ九大病院は、九大医系学生の実習の場ともなっている。

(3) 発声映画は、映像と音声を一致させて映写する映画。対義語は、サイレント(無声映画)。

(4) 『』(二重カギ括弧)で囲まれている前者は夢野久作著『ドグラ・マグラ』。「」(一重カギ

括弧)で囲まれた後者は『ドグラ・マグラ』の作中に出てくる「ドグラ・マグラ」。この作中作「ドグラ・マグラ」の筆者は九州帝大の首席合格者だったが入学式の5日前に発狂し、同大学精神病学教室の附属病院に入院していた患者。

若林鏡太郎の説明によると、作中作「ドグラ・マグラ」の筋書きは、筆者の精神病患者が自分自身をモデルにして、正木敬之と若林によって恐ろしい精神科学の実験を受けさせられる苦しみを詳細に描写したものであるという。なお、本書では両者をイチイチ区別せずに、カギ括弧無しで使っていることもある。

(5) 福岡の老舗製菓店。1905年に博多・中対馬小路の川上音二郎の生家を借りて創業。のちに近所の須崎町に本店舗を移転する。どちらの店舗も夢野久作が幼少期に一時暮らした博多・鱈町の借家からは歩いて数分の距離にある。

石村萬盛堂は、店の前が博多祇園山笠の追い山のゴール地点。また、ホワイトデー発祥の地、芸能界に入る前の小松政夫氏が働いていた製菓店としても知られる。

(6) ロンチェニーことロン・チェイニーは20世紀初頭の映画俳優。サイレント映画時代のハリウッドの名優で、「千の顔を持つ男」と評された。『ノートルダムスの傴僂男』や『オペラの怪人』のファントム(怪人)ことエリック役などが当たり役で、当代きつての怪奇スターだった。

(7) 宮崎駿のジブリ作品『風の谷のナウシカ』に登場する森。巨大化した菌類や蟲たちが生息し、大気は瘴気とよばれる猛毒に満ちている。その森の中では、防毒マスクがなければ人は5分で肺が腐り死に至るといふ恐怖の森。

(8) クリミア半島の付け根、アゾフ海西岸にあるアラバト砂州に囲まれた入り江の呼称。赤い色素をもつ海中微生物の影響で海水が幻想的な赤色に染まり、腐敗臭を放つことから「腐海」とも呼ばれる。風向き次第で現地の住民を悩ませるその悪臭は、「腐海の畔に生きる者の定め」とか。

(9) 九州大学医学部と附属の大病院で兼用されている正門のこと。「ドグラ・マグラ」の作中ではラスト近く(松柏館書店版702頁)で、正午を知らせる大砲の空砲(ドン)の大音響のなか、主人公が大正時代のこの正門から飛び出して博多の街へと逃走するシーンがある。

(10) かつて千代の松原の小山には地藏堂があった。路面電車を通す工事のために移設することになった。大正13年に発掘調査が行われると、地中から狛犬に似た巨大な頭骨が出土した。新しい地藏堂にはこの頭骨を壺に入れて埋葬し、高僧が「魔除神・高麗犬地藏」と命名し今日に至っている。

夢野久作はこの実話をもとに「犬神博士」(福岡日日新聞、昭和6年9月〜7年1月)の着想を得たともいわれている。作中では「幻術」や「幻魔術」、もしくは「魔法」といった言葉にドグラ・マグラとルビが振られており、幻魔術使いの少年チイが主人公として登場する。そのような経緯から——呪術的な用法としての——ドグラ・マグラ発祥の地とも目されるこの祠は、現在進行中の九大箱崎キャンパス跡地の再開発にともなう道路拡張計画で存続が危ぶまれており、一部の地元の人々と久作ファンの間で保存が呼びかけられている。



大正時代の九大医学部正門

## 心証

▲▲▲それから数ヶ月後▼▼▼

W・イヤハヤ、あの日はなかなかの強行軍で御座いましたなあ。たった一日で新生・福岡県立図書館で夢野久作の主要作品を読破し、そのうえに真新しい博多駅のビルディングで映画鑑賞まで済ませたのですから。

I…でも、さすがは若林教授ですね、教授の速読っぷりにはこの僕も舌を巻きました。あんなに早く図書館を後にして、映画鑑賞まで出来ようとは！ しかも、博多駅ビル内の映画館・Tジョイ博多の銀幕で『劇場版 鬼滅の刃 無限列車編』を御覧になって、感涙かみんるいに目をうるませて映画館下の8階でエスカレーターを突然に降りると、そのまま本屋に入っただけだったのですから。

それから800坪の売場に60万冊の販売用書籍・雑誌がズラリと並ぶ「丸善」で文芸書コーナーで棚整理中の書店員を見つけて肩をポンとたたいてコミック売場まで案内してもらおうと、『鬼滅の刃』のコミック全23巻をまとめ買いされましたよね。

あの時の女性の書店員さんは、映画の余韻に目頭を押さえながらレジを済ませる教授の脇で、僕ら二人を交互に見比べながら、まるで信じられないものを見たともいうような表情で突っ立っておられたじゃないですか……。それから、頬を濡らしながら僕らをエレベーターまでエスコートしてくれた彼女の涙顔を、僕は今でも忘れられませんよ。

W…ええ、まあ。映画の前後の展開が気になって、一階下に昔馴染みの本屋が出店しておったのでついつい入ったのですが……。お陰様で、帰りの地下鉄の車内で初巻から読み始めて、九大病院前駅に戻るまでには最終巻の23巻「無限城編」まで完読しましたゾ。購入したコミックの持ち運びが多少手間ではありましたが、大変に面白う御座いました。

I…地下鉄の車内で教授は『鬼滅の刃』をあつという間に全巻読破しておりましたが、あんなに機械のように瞬時にページを捲りながら読んでしまわれて、感動というものが本当に得られたのですか？ しかも、病室に戻ってからというものの、院長先生から頂いたiPadを片手に漫画アプリを次々にダウンロードして、今日までズット日毎夜毎に集英社の歴代週刊少年ジャンプ作品や他誌のマンガまでも読破しておられたようですが……。

W…ええ、折角ですからアプリの無料サービス期間中に読めるだけ読んでおこうと思ひまして、過去の少年マンガ作品から別マ（別冊マーガレット）を含む少女漫画まで、主だった作品はあらかた読み終えることができました。

それに、博多駅から新幹線で20分もあれば小倉駅前の北九州市漫画ミュージアム<sup>(1)</sup>に行けることを

知りましただので、外出許可日にはJ Rの割引チケット「新幹線よかよかきっぷ」を使って開館一番から閲覧ゾーンでユツタリと7万冊の漫画単行本を自由に読破し、超速で見聞を広めておった次第で……。館長の畑たいむ先生も温かいお人柄の方で、ズイブンと親切にしてみましたゾツ!!  
アハアハ!

I …どれだけ、令和時代に馴染むのが速いのですか、教授は!? まあ、僕もその気になればレンタルブック空港東<sup>②</sup>貸本屋まさき<sup>③</sup>で借りた貸本マンガを教授に負けないスピードで乱読して記憶できるタチではありますが、マンガを読むのにそんな能力を使いたいとは思いませんけれども……。  
W …アハハ……。しかし、iPadは便利ですね! 紙媒体のマンガはかさばるわ、重いわ、場所を取るわですから、慣れてしまえばネットでの読書も、そう悪くはありませんな。

I …ちよつと前まで、「アアアアア 年号がア!!」と叫んでおられたというのに……恐るべき、令和時代への順応力ですね。見ているこっちの方がビックリ仰天ですよ。

W …しかし、他のマンガ作品と比べても『鬼滅の刃』は本当に素晴らしい作品でしたが、私、実は少しばかり気になる点が御座いまして……。

I …はあ……。何がでしょうか?

W …あの『鬼滅の刃』の作者のワニ先生……否、吾峠呼世晴先生についてで御座いますが……、『鬼滅の刃』を連載されるにあたって、何と申しますか、ソノ……口の端にかけるのも畏れ多いので御座いますが、『ジヨジヨの奇妙な冒険』や『BLEACH』やらと、ソノ……設定がナニやら

少々重なっておるのではありますまいか？

I…!? ……わ、若林教授ッ！ 仮にも「迷宮破り」の二つ名をお持ちの名探偵の教授が、何故、

「ソ、ソレは言いっこ無しじゃないですか」という、ごくごく簡単な推理がおできにならないのですか！ 若林教授にわざわざ指摘されなかったって、少年ジャンプ黄金期時代の読者なら全員が全員、最初っから分かっていますよ、そんなことは！ ……どうしてこう、鼻が利かないのかなあ？

昭和時代に夢野久作の『ドグラ・マグラ』をミステリーとしてチャンと理解することができずに、狂人が書いた奇書ならぬ禁書扱いにして実質的に読解を放棄してしまった大方の読者たちと違って、とても優しい匂いがあるのですよ、この令和の読者さんたちは！

W… …… ……

I…「マンガの神様」と称された手塚治虫先生の『ジャングル大帝』なんて、米国のデイズニー社が後から手掛けたアニメ作品『ライオン・キング』と幾つもの類似点があったにもかかわらず、手塚先生の御遺族は、

デイズニーファンだった故人がもしもこの一件を知ったならば、怒るところか「仮にデイズニーに盗作されたとしても、むしろそれは光栄なことだ」と喜んでいたはずだ。

……として許容されたのです。こうして、日本のマンガ界における一種の「神の裁定」が下り、以

後はあたかも俗界における最高裁判例の如くに機能しているのです。

そのようなこともあって、ワニ先生のように作家間でリスペクトし合いながら、お互いにオマージュ作品を繰り出して高め合ってきたのが日本のマンガ作品の美点なのだと言いつつ、読者さんたちも「野暮なことは言いつこなし！」と、暗黙のうちに了解して拝読しておられるのですから、察してくださいヨ、教授。

ワニ先生こと吾峠呼世晴先生も、少年ジャンプ公認スクジャンツイキャス『鬼滅の刃』関連回(2016/10/31配信)では、

Q…吾峠先生が影響を受けた作品は？

A…数えきれないが、あえてベスト3を選出するならばジョジョ、ナルト、ブリーチ(特に打ち合わせ中に護廷十三隊の話が良く出てくるらしい)

W………………  
……………とおっしゃると仰つておいでなのですから、むしろ清々しいまでの潔さではありませんか。

## 注解

(11) 松本零士をはじめ、わたせせいぞう、畑中純、北条司らの著名な漫画家を輩出した北九州市の漫画文化発信拠点施設。常時、企画されている漫画家の作品の原画展示はもちろん、約7万冊のマンガ単行本を自由に手に取って読める「閲覧ゾーン」は圧巻。

(12) 「貸本のレンタルブック空港東」、通称「貸本屋まさき」は、福岡空港から2キロほどの東にある実在の貸本マンガ店。個人経営によるマンガ専門の貸本屋はこのお店を含めて全国にあと5軒ほどが残るのみで、業種としての存続が危ぶまれている。まるで、芳崎せいむ先生のマンガ『金魚屋古書店』に出てくる「ねこまた堂」のエピソードのように、元常連客の池田昌樹さんが先代店主からお店を継承した貸本マンガ店であることから、二代目店主の名を採って「貸本屋まさき」の愛称で呼ばれることも。

「福岡で一番マンガを持ってる男！」を自認するマサキ博士……否、まさき店長が保有する蔵書は約6万冊。少女マンガが3万冊以上あり、お客さんの6割以上が女性客とのこと。大手資本の貸本マンガ業2社が紙媒体のリアル貸本業からの撤退の気配を見せるなか、日本のサブカルチャーの土壌を支えてきた貸本マンガ業の歴史を背負って、まさき店長は暖簾を守り続けている。

◎レンタル料金…9冊まで100円／冊／週、10冊以上60円／冊／週。店長オススメのおためし、別名「毘」0円。本書に登場するIは、正木博士と同じ響きの店名が気になってフラフラと店に入り、まさき店長の「毘」にかかって常連客になった。



池田昌樹店長

## ジヨジヨの奇妙な予告

I ……それに、荒木飛呂彦<sup>あらきひろひこ</sup>先生の『ジヨジヨの奇妙な冒険』だって、最初の頃は、ディオの……、醜<sup>みにく</sup>くってズル賢くって母に苦勞をかけて死なせ最低の父親だったぜ！ 一番の金持ちになれだ  
と？ ああ！ なってやるとも！ おまえの「遺産」、受けとるぜ！ ひとりでも生きられる  
が、利用できるものはなんでも利用してやる！ だからこのジヨースターとかいう貴族を利用  
してだれにも負けない男になるッ！

………つていう、わりと小チンマリとした野望だったのが、

おれは人間をやめるぞ！ ジヨジヨ——ッ!!

から、

ウ  
リ  
リ  
イ  
イ  
イ  
イ  
イ  
イ  
U  
R  
E  
E  
Y  
Y  
Y

つとなつて、

「不死身」「不老不死」おれはこの世を支配できるッ

……つてな感じになつたら、それに対抗する主人公のジョナサンも、それまでの線の細い少年キアラから一変して、武論尊先生ぶろんそん & 原哲夫先生の『北斗の拳』の主人公・ケンシロウのような外見の、筋肉ムキムキの屈強な青年キアラに激変していたではないですか？

W……マア、そうですね。

I……でも、だからといって、誰も文句をいったりしないのが、ジャンプ読者の嗜みたしなつてもものなのですよ。

W……左様で御座いましたか……。ジョジョにつきましたは私奴わたくしめなどは、ディオが石仮面を被かぶつてからの……、波紋法という名の特殊な呼吸法により、体を流れる血液の流れをコントロールして血液に波紋を起こし、敵の弱点である太陽光の波と同じ波長の生命エネルギーを生み出す！ ナゾとい

ったような、鬼滅に通ずる超展開には正直、驚きを禁じ得ませんでした……。。

I…そんなことぐらいで驚いていたら、ジャンプ本誌に1986年に掲載されていたという『ジョジョの奇妙な冒険』の新連載予告の惹句キャッチコピーなんて、若林教授が目にした日には失神モノですよ！  
W………ジョジョの新連載予告？

I…ええ。その当時の、少年ジャンプ誌上の新年連載予告に曰く……、

新年1・2号より お待たせ!! 荒木ファン待望の超異色作がココに!! 驚異の二重人格者・ジョジョとは、いっただいどんな男! ジョジョの奇妙な冒険 荒木飛呂彦

………だっただのですから！

W………。

いっただいどんな男!? だっただのしょうなあ、当初予定されていたジョジョ像とは？ あの不朽の名作も、当初はマッタクの見切り発車だったという訳ですかあ……。週刊少年ジャンプらしいといえはそれまでで、マア身も蓋ふたもないハナシなのですが……。マッタク凄すごいですが、集英社は。

I…僕は、荒木飛呂彦先生の作品については、きれいなディオディオが登場していた感のある『魔少年ビーティー』や、個人的には若林教授によく似た印象を持つ霞かすみの目博士博士が登場してくる『バオー来訪者』を読んで以来ファンになりましたからね。以来、荒木先生について過去の作品関連の

データを洗い直して、作画や作風の変化について調査をしておりますから、ジョジョの新連載予告の惹句じやくについてのデータも見逃みわすしたりはしませんよ。

W…怖ろしい読者、ですな……。

I…僕の推理では、おそらく荒木飛呂彦先生は、当初はジョナサン・ジョースターとディオ・ブランドーを、『ジキルとハイド』のような同一人物の肉体に宿る別人格の魂たましいにするつもりだったのだと思います。だから、作品タイトルを『ジョジョの奇妙な冒険』と命名していたのですよ。このタイトルの中の「奇妙な」というフレーズは、スチブンスンの名作『ジキルとハイド』の原題である『The Strange Case of Dr. Jekyll and Mr. Hyde (ジキル博士とハイド氏の奇妙な事件)』から振もって付けられたのだろうというのが僕の推理です。でも、そんな読者のありきたりの予測をアツサリ裏切うらって、ジキル役のジョナサンとハイド役のディオを別々の人物として描き直し、そして第1部の完結間際で……、

ボディオ  
肉体… …きたか…

……とディオがジョナサンに語り掛ける訳ですよ、教授。

それからディオはこう続けるのです。

なぜこんな姿をあえて見せるのか……：

それはジョジョ あれほど侮あなごっていたおまえを今 おれは尊敬しているからだ… 勇気を！

おまえの魂を！ 力を！ 尊敬している…それに気づいたからだ…

おれたちはこの世において ふたりでひとり！ つまり…

おれは この世で ただひとり尊敬する人間のボディ（肉体）を手に入れ 絢爛けんらんたる永遠を生  
きる！ それが このディオの運命なのだ！

そして、この言葉を耳にした瀕死ひんしのジョナサンが……、

ディオ…君の言うように ほくらはやはり ふたりでひとりだったのかもしれないな 奇妙な  
友情すら感じるよ… そして 今 二人の運命は完全にひとつになった…

……と、その真情を独白する場面で二人を乗せた大型客船が爆沈し、第1部が完結となるのです。  
それから第2部を挟んで第3部では、ハイド役・ディオの吸血鬼としての能力と、ジキル役・ジョ  
ナサンスワンの幽波紋スワンの能力が合体して、新キャラクター・DIOディオが誕生し……、

不死身ッ！！ 不老不死ッ！ スタンドパワーッ！

……と、まあ、こうなる訳です。

W…ああ！う…美しすぎます！その推理!! 流石は正木先生に「超脳髓式の青年名探偵アンボ  
ンタン・ポカン博士」と褒めちぎられた推理眼で御座いますなあ、貴方様は……。私、感服致しま  
したゾ。

I…ご理解頂ければそれで良いのです、教授。『ジョジョの奇妙な冒険』と『ジキル博士とハイド  
氏の奇妙な事件』の標題の類似性や、ジョジョ第4部でのラスボス・吉良吉影が爪切りで切った自  
分の「爪」をビンの中に大量にため込んでいた描写が夢野久作の短編『けむりを吐かぬ煙突』の美  
貌の連続殺人犯・南堂伯爵未亡人が顔立ちのいい少年を殺めるたびに爪を蒐集していたプロット  
と似通っていた点、さらには吉良吉影のスタンドである「キラークイーン」の第三の爆弾・バイツ  
ァ・ダストが爆破と同時に時間を1時間ほど巻き戻してループする設定が『ドグラ・マグラ』の、  
いわゆる〴〵円環構造なるもの〴〵と似かよっている点などについてはチョット分かりづらいかも知れ  
ませんが、若林教授じゃなくても熱烈な週刊少年ジャンプのファンならば……………

「鬼舞辻無惨の血を与えられて鬼化！」と「ディオの血を与えられてゾンビ化！」、

「全集中の呼吸」と「波紋法の呼吸」、

「血鬼術」と「幽波紋」、

「青い彼岸花」と「エイジャの赤石」、

「鬼殺隊」と「護廷十三隊」、

「日輪刀」と「斬魄刀」、

「竈門炭治郎の鬼化」と「うずまきナルトの尾獣化」、

……など、キャラクターや技の設定が、どことなく似通っていることぐらいは気付いているに違いないのですから、鬼の首を取ったかのようにハシヤイだりしては駄目なんですよ。令和の読者さんは皆、吾峠先生のこと大好きなものですから、悲しい匂いがするようになっては駄目なんです！

きつとワニ先生も、鬼滅のネタをハンティングする際には、涙を流しながら咀嚼そしやくしておられたに相違ないのでしょうからネ。

W…ハア……。咀嚼する「ワニの目にも涙」という訳で御座いますか……。

## 隙の糸

I…:…:そんなコアな漫画ファンならスグに感付きそうな『鬼滅の刃』の元ネタよりですねえ。もっと根源的なインスピレーションの源泉とでもいってほしいものが、実は僕らが生きていたドグラ・マグラの世界と繋がっている気がするのですが、教授はその辺りのことをどう思われますか？

W…左様で御座いますな…:。貴方様はひよつとして、吾峠先生が『ドグラ・マグラ』という小説の世界観からなにがしかの影響を受けておられて、鬼滅の作品の登場人物たちのキャラクター設定において着想の源泉としておられるのでは…:と仰りたいので？

I…ハイ。

W…実は私も、コミックのページをめくりながら密かにそのような気がしておったのです。両作品とも時代背景が同じ大正時代で、主人公の竈門炭治郎が鬼殺隊に入隊してからは、貴方様の学生服と同じような襟が学ラン風の隊服を纏って鬼たちと死闘を繰り広げておりました…:。

I…吾峠先生は福岡県のご出身ということのようですが、同じ福岡生まれの夢野久作の作品群から

着想を得られていたらしい匂いが、仄かにどこか芬々と僕の鼻腔をくすぐるんですよねえ……。W……ならば、私奴と貴方様とで『鬼滅の刃』に結えられた夢野久作にまつわる目に見えぬ「隙の糸」を手繰り寄せて、作者が各キャラクターの設定において込めたであろう夢野作品に繋がる表現活動の動機、モチーフの謎解きに興じてみるというのは如何で？

I…さすがは「迷宮破り」の二つ名を冠せられた若林教授、なかなかシブい、面白そうな遊びを考えつかれますねッ！ だいぶ、解放治療の効果も現われてこられたようで……。先ほどの僕の暴言は謹んで取り消します。キャラクターの設定の謎解き遊びだなんて、精神病院に入れられた僕らにとっては格好の退屈のしぎになりますしね！

一方で『鬼滅の刃』とは対照的に、今やこちらの令和の世界では僕らがそこで生きていたドグラ・マグラは日本探偵小説三大奇書の筆頭に挙げられて、常人には到底、解読不可能な超難解本の烙印まで押された状態で……。おまけに「読破した者は、精神に異常をきたす」……などといった流言蜚語まで飛び交うありさまで、すっかり異端の禁書扱い！ この謎解き遊び、やり甲斐はアリですよ。

W……：貴重な書物という意味の造語かナニかで、三大貴書と呼ばれておったのかと思っておりますが、今の貴方様のご説明で得心しましたが、奇書は奇書でも「構想がずば抜けて面白く、他に比肩すべきものがない本」という本来の意味の奇書ではなく、「奇妙な本」とか「奇っ怪な本」という意味合いでの三大奇書だったのですな！ 他の二書は未読ながら、マッタクもって酷いわ

れようではありませんか、私どものドグラ・マグラも!! とんだ濡れ衣を着せられたもので御座いますな。

I…ええ、夢野久作が眠る杉山家の菩提寺・一行寺とは御笠川（石堂川）を挟んで河岸に立っている濡衣塚ぬれぎぬ塚と同じくらの「濡れ衣」つぶりでですよ!

試しに、朝霧カフカ先生の『文豪ストレイドッグス』のQ、なんかをご覧になってみてくださいいな。作中では最も忌み嫌われている精神操作系の、狂気の異能者との触れ込みで、夢野久作が登場して来ておりましたから……。

W…マコトで御座いますか、ソレは?

I…さらに、施川ユウキ先生の漫画作品『バーナード嬢曰く。』の中の描写では……、

神林しおり…

タイトル覚えるより 一冊でいいから読め

『ドグラ・マグラ』が オススメだな

構想と執筆に 10年以上 かけられた

記憶喪失の 精神病患者が 主人公の 推理小説

読んだ者は 精神に異常を きたすという…

バーナード嬢…

ええっ！ …なんか 読んだら ハマリそう

でも いかにも サブカルっぽい というか 中二ちゅうじっぽい というか…

「今 ハマってる本は 『ドグラ・マグラ』です」 って言うの 恥ずかしいな

「狂気の世界に 心酔しちやってる この私 取り扱い注意」

…みたいなアピールに なりそうで

神林しおり…

バン！（机をたたく音）

なんねーよ！

てゆーか 他人から どう見られるか とか意識して 読書すんな!!

そんなん気にしてたら どんな本に対しても 読者層を勝手に ステレオタイプ化した挙句あげく

「私はあえて一歩引いた 距離感で読んでます」みたいな保険かけた つまんねえ読み方し

かできなくなるんだよ！

人に影響を与えられる 本っていうのは 毒になろうとも 薬になろうとも それだけで

貴重な財産なんだ！

「イタイ」とか 「恥ずかしい」とか 思われようが 読了後 生き方が 変わるくらい

どっぷり作品世界に 浸ひたらないと

濃厚で価値のある 読書体験は 得られないんだよ!!!

はー はー はー

バーナード嬢…

ブルブルブル

………でしたからねえ。

このようなあんばいですから、実際にドグラ・マグラの世界にドップリ浸かって「全集中の呼吸」をしていた我々にしか、ドグラ・マグラと結びついた『鬼滅の刃』の縁えだしの糸を探知することは出来ないかも知れませんねえ。

W…いやはや、マツタク同感で御座いますな。

### 注解

(13) 杉山家の菩提寺、三笑山いちききょうじ一行寺は五百年以上の歴史をもつ浄土宗のお寺。室町時代に博多の辻の堂（現在の若八幡宮。厄八幡・厄除八幡の愛称でも親しまれる）で開山、江戸時代に秘蔵の御本尊の仏像とともに現在地に移転した。

境内は旧唐津街道沿いで、本堂の横を流れる石堂川いしどうに架かる石堂橋はかつての博多の玄関口で関所が設けられていた。この地は往古は大宰府の官人が陣を構えたとされる土地柄で、近年は秋に催され



杉山家の累祖の墓がある一行寺の本堂。御本尊の脇に箱に入る大きさの秘仏がまつられていた。浦辻格央副住職のお話によると、辻の堂の時代からのものだという。ドグラ・マグラ（青黛山如月寺縁起）で美登利屋坪太郎（虹汀）が唐津から背負ってきた弥勒座像のモデルは、この仏様だったのではないかと筆者は思った。



「杉山家累祖之墓」と書かれた墓石と、その裏面（ともに泰道＝久作筆）



ライトアップされた一行寺の山門



一行寺は石堂川をはさんで濡衣塚の対岸にあたる。橋は旧唐津街道の石堂橋

る「博多旧市街フェスティバル」では協賛寺院として山門がライトアップされる。山門をくぐって左手の本堂脇に杉山家累祖の墓があり、夢野久作や茂丸、龍丸ら杉山家累祖の御霊が眠る。現在の墓石は生前に久作によって建てられたもので、墓名の金字も久作の筆によるもの。すこぶる達筆！

(14) 濡衣塚は、一行寺とは石堂橋を挟んだ対岸の川沿いに立つ石塚。その名の通り、濡れ衣を着せられる、という諺の由来となった塚。

その昔、聖武天皇の御代に、ある男が筑前の国司として赴任してきた。男は妻と一人娘の春姫を伴っていたが在任中に妻が亡くなり、土地の女性を後妻に迎えて一女を授かった。ところが先妻の子の春姫を疎ましく思った後妻が、漁師に「春姫様が釣り衣を盗むので困っている」と訴えさせた。そしてその証拠にと、寝ている春姫の夜具の上に濡れた釣り衣を重ねて、その姿を夫に見せた。逆上した夫はその場で我が娘を斬り捨てた……。その後、父の夢枕に立った春姫が潔白を訴えると、男は我が子の無実を悟る。男は罨にはめた後妻を離縁し、石堂川のとりに塚を建てて春姫の御霊を弔ったという。以後、博多ではこの塚のことを「濡衣塚」と呼び、今に至るも各々の戒めとしている。

余談ではあるが、乳児期の夢野久作に母乳を与えてくれた乳母は濡衣の姫と同じ名で春といた。



石堂川沿いの濡衣塚

## 鬼滅の刃を迎えて解く

W……しかし、話をまた蒸し返すようですが、インターネット上の百科事典<sup>ひょうまう</sup>を標榜しておるウィキペディアの『ドグラ・マグラ』の解説放棄ぶりは酷い<sup>ひど</sup>ですなあ……。

I…『ドグラ・マグラ』は昭和10年の初版発行時こそ、

「日本一幻魔怪奇の本格探偵小説」、「幻怪、妖麗、グロテスク、エロティシズムの極」、「日本探偵小説界の最高峰」……

などの宣伝文句で読書界に大きな話題を提供していたようですが、令和の現代において僕がウィキペディアを覗いてみた限りでは、謎解きの解答など一切用意されていない幻魔怪奇探偵小説<sup>のぞ</sup>と分かってもないくせにアッサリくくられて、探偵小説<sup>のぞ</sup>なのに謎解きそのものが諦められて「迷宮入り」ならぬ「ゴミ箱入り」してしまっているようですからね。

W…迷宮入りからゴミ箱入りですか……。アハ……。アハアハ……。面白う御座いますなあ。

「迷宮破り」の二つ名を持つ私奴<sup>わたくしめ</sup>と、透き通る世界<sup>わたくしめ</sup>にも匹敵する卓越した推理眼をお持ちの

「超脳髓式青年名探偵」の呼び声高い貴方様とで相棒を組めば、そこいらのウイキ……モトイ、ゴミ箱なんぞ蹴飛ばして、解けない迷宮事件など、この世に一件たりとも在ろうはずはありますまいに……。ドグラ・マグラの謎解きとて決して不可能な話ではありませんぞ、我々二人が全集中の推理をするならば！

I…まあ、僕もそんな気がしなくてもありません。しかし、ドグラ・マグラの方の「脳髓の迷宮」は我々二人にもちよつとはかり菌応えがあり過ぎる嫌いがありますから、脱出口を見つけたすのにかなりの手間と時間を要することは必定でしょう。ここはまず、『鬼滅の刃』の方から謎解きにかかってみましょうか、教授。

W……ナルホド。貴方様としては、主菜のドグラ・マグラは鬼滅の後のお楽しみとして取っておきたいと、そういうお考えなのですか！

I…ハイ、そういうことです。最初は食前酒として『鬼滅の刃』から栓を開けて、その後に「黄金の夜明け団」が残した「生命の樹」のダアトの謎解きやら、アルプレヒト・デューラーの「メランコリアI」の謎解きなんぞを前菜に添えて、その後でユツクリと主菜の『ドグラ・マグラ』の謎解きに取り掛かるといふのは如何ですか、教授？

W……アハハハハハ。腕が鳴りますなあ、九大病院でドグラ・マグラ退治の夢が叶おうとは！

初版本の発刊から何とか一世紀以内にはドグラ・マグラの謎解きを終えてやらぬことには、御笠川（石堂川）横の墓の下で眠っておられると貴方様が仰った、ある意味では我らの生みの親たる夢野

久作サンも浮かばれますまいに……。

I…ええ、そうですとも！

サテと、それでは若林教授。『鬼滅の刃』の粗筋あらすじについては誰が読んでも読了後に解釈のズレはほとんど発生しないと思いますが、『ドグラ・マグラ』の方は百人が読めば百通りの解釈が可能と世間ではいわれているようですから、僕と教授とで『ドグラ・マグラ』の基本構造についてお互いの認識が一致しているかどうか、前もって確認しておきませんか？ 夢野久作『ドグラ・マグラ』の読後の解釈で、双方に齟齬そごがないかどうかを最初にハッキリさせておきましょうよ！

W…そうですな。まあ、貴方様と私奴とは、例の人体学術実験の当事者でもありませんから、それほど認識にズレがあらうとも思えません、念には念を入れて『ドグラ・マグラ』の粗筋についてザツとお濼さぐいを致しておきますか……。

I…ハイ。それでは折角せつかくですから、ここはひとつ気分を変えて、とある帝国大学の大講義室かどうかで、満堂の夢Qファンを前に講演しているようなつもりで、例の博士の口振りなどもチョイと真似て語ってみましょうか……。

W…左様ですか……。それでは早速、貴方様の見解をお聞かせくださいませ……。

I…サテと……。では、一席ぶってみましょうか。ゴホン……。

ヤアヤア。遠からん者は望遠鏡にて見当けんとうをつけい。近くんば寄って顕微鏡のぞで覗いて見よ。吾こそ

は九大病院・精神科病棟・七号室に、キチガイ探偵としてその名を得たる呉一郎とは吾が事也。今日しも満天下の常識屋どもの胆つ玉をデングリ返してくれんがために、突然の謎解きを思い立ったるその序に、古今無類のドグラ・マグラ論を発表して、これを聴く奴と、話す奴のドチラが馬鹿か、氣違いか、真劍の勝負を決すべく、一席口上仕るもの……吾と思わん常識屋は、眉に唾して出で会い候え候え……

W…チヨ、チヨット待つて下さいませッ。ストップ、ストップ！

I…：…ハ？ どうかなさいましたか、若林教授？

W…昨今のわれわれのドグラ・マグラが置かれた境遇、その無視のされように貴方様が憤つておられることは私にもよくわかりますが、そのような無声映画の弁士かテキ屋の口上のような口調では、いまだき誰ひとりマトモに耳を傾けてはくれませんぞ！

今は面黒樓万児作歌の例の「外道祭文」や、キチガイ博士の「空前絶後の遺言書」が書かれた時代ではないのですから、もう少し気を落ち着けて、此処は理性的かつ論理的な節回しで、常に謙虚な語り口を意識しながらご自分の論旨を述べられた方が宜しいのでは御座いませんか？

I…そんなもんですかね？

それでは気分一新、教授の助言に従つてお上品に、よりフォーマルな感じで……コホン！

## 注解

(34) 1935年に初版本が刊行されたドグラ・マグラは、やがて出版百周年を迎える。これまでフランス語(2003年)、韓国語(2008年)、ロシア語(2023年)で翻訳出版され、英語訳は2002年に文化庁の事業として、夏目漱石や芥川龍之介ら他の26作品とともに翻訳が試みられたが途中で挫折している。なお、アマゾンで検索するとフランス語版を底本とする英語版ドグラ・マグラが2023年4月に上梓されたとの情報がある。また、「Demon Crane Press」という出版社が2023年から英訳作業を進めており、ネット上でその翻訳文の冒頭部が公開されている。以下、『少女地獄』、『瓶詰地獄』、『あやかしの鼓』の外国語版のカバー写真とともに掲げる。

ドグラ・マグラは中国語では2004年に『脳髓地獄』のタイトルで台湾で出版された。その後、中国語版では複数の版元からも出ているようである。簡体字の中国本土版『脳髓地獄』の中には次のような眉唾な推薦文つきの翻訳本がある。

私にとって日本の芸術品は3つしかない。大阪の太閤の城、黒澤明の羅生門、夢野久作の『ドグラ・マグラ』だ。私の『もののけ姫』と『千と千尋の神隠し』はそれに遠く及ばない。——宮崎駿



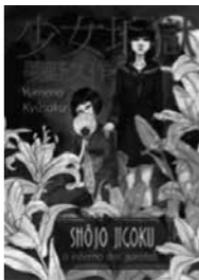
スペイン語版  
『少女地獄』



英語版  
『瓶詰地獄』



スペイン語版  
『あやかしの鼓』



ポルトガル語版  
『少女地獄』



フランス語版  
『瓶詰地獄』



中国語版「脳髓地獄」  
万卷出版公司印刷



ロシア語版  
「ドグラ・マグラ」



フランス語版  
「ドグラ・マグラ」



中国語版「脳髓地獄」  
小知堂



中国語版「脳髓地獄」  
海南出版社



中国語版「脳髓地獄」  
新星出版社



韓国語版  
「ドグラ・マグラ」



中国語版「脳髓地獄」  
野人文化



ポーランド語版  
「瓶詰地獄」



中国語版「脳髓地獄」  
浙江文艺出版社



中国語版「脳髓地獄」  
天津人民出版社



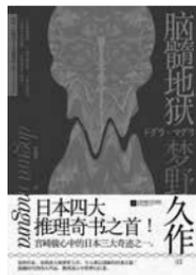
英語版  
「ドグラ・マグラ」



ポーランド語版  
「あやかしの鼓」



中国語版「脳髓地獄」  
北京时代华文书局



中国語版「脳髓地獄」  
江苏凤凰文艺出版社



英語版  
「ドグラ・マグラ」



イタリア語版  
「少女地獄」

## 第2章

---

### 迷宮からの脱出

夢野久作の遺品から発見された柱時計



## 六大前提

I…さて、お立ち会いの皆さん。

『ドグラ・マグラ』を読み解く上で、まずはじめにクリアしておかなければならないことがあります。それは読み手の解釈をどこまで自由にしてよいのかという問題です。

『ドグラ・マグラ』という作品は読み手の側に立つとどんな解釈でも可能で、どの解釈が正解でどの解釈が不正解であるか判然としません。私の読み解きもそれら無限個の解釈の一つである以上、条件は同じであり、むしろ不正解である確率の方が高いくらいです。

そこで、これから私が『ドグラ・マグラ』と対峙するうえで立脚点を、最初にハッキリさせておきたいと思います。私が読み解きの前提とするのは、次の六つの条件です。

- (I) 夢野久作著『ドグラ・マグラ』の内容<sup>イ</sup>||<sup>コ</sup>作中作「ドグラ・マグラ」の内容。
- (II) 作中作「ドグラ・マグラ」は、「誰かの夢」や「胎児の夢」などではない。また、予言書で

もない。物語の中の「私」の過去の現実が記述された原稿であること。

(Ⅲ) 呉一郎Ⅱ七号室の患者Ⅱ「私」Ⅱアンボンタン・ポカン君Ⅱ若い大学生の患者。

(Ⅳ) 呉モヨ子Ⅱ六号室の患者Ⅱ蘇生した少女。

(Ⅴ) 「私」が離魂病の発症で感じとる視覚・聴覚などの感覚はすべて過去の現実であり、未来からの意識や感覚の流入はありえないこと。

(Ⅵ) 夢野久作は天才である。

これらの諸条件は、これから推論を展開するうえで「原理・原則」となる重要な仮説であり、本講演の大前提であるともいえます。

以後、この六つの仮説を読み解きの起点として思考を深めていくにあたって、これらの大前提を骨格として組み立てた一艘の小舟に、この論述の傍聴人であるあなたにもご乗船いただき、六大前提を是とする現状追認の切符を片手に、『ドグラ・マグラ』の大海原に漕ぎ出したいのです。

もし、途中でこの小舟が難破するようなことになったら呉一郎と「私」は別人だったことになり、本論の主張は即、不正解となる訳です。

ここで六大前提の(Ⅱ)項、作中作「ドグラ・マグラ」は「私」の過去の現実が記述された原稿であること、について少し補足しておきますと、これにはそれなりの根拠があります。『ドグラ・マグラ』の主人公である「私」が、正木敬之博士からモヨ子のことを尋ねられる場面に、

「フーム……そうだろう……そうだろう。あの少女が美しいかどうかと訊かれて平気で返事の出来る青年は、恋愛遊戯に疲れた不良連中か、又は八犬伝や水滸伝すいこでんに出て来る性的不能患者の後裔こうえいだからね……しかし君はあの少女を、それっきり何とも思わなかったかね」

私は本当を云うと、この時の私の心持ちをここに記録したくない。

とありますが、この文中にある「ここ」とは、他ならぬ作中作「ドグラ・マグラ」の文章そのものを指しており、「私は本当を云うと、この時の私の心持ちをドグラ・マグラに記録したくない」と吐露とろしていたと読み解くことができます。

さらにいえば、「私」が標本室で正木博士に絵巻物の実物を見せられ、最終の第六図まで見終えた場面です。ここで主人公は、

……私は嘘を記録する事は出来ない。あとから考えても恥ずかしい限りであるが、私はおしま  
いの方ほど急いで見た。

と告白しています。この記述も作中作「ドグラ・マグラ」が「私」の過去の現実の記録であることの根拠のひとつたり得るでしょう。

また加えて、嘘や矛盾や背反証言を見破れないかぎりは『ドグラ・マグラ』の登場人物たちが語る話は基本的に真実として信じるといふ性善説の姿勢で臨みました。

注解

(1) 本章は以下、190頁までズット、主人公Iの一人語りである。

Iは九州帝大の精神病学教室本館の大講義室で満堂の夢Qファンを前に講演しているようなつもりで話している。下図の中央部が明治・大正期の大講義室(出典:『九大医学部建築史』)

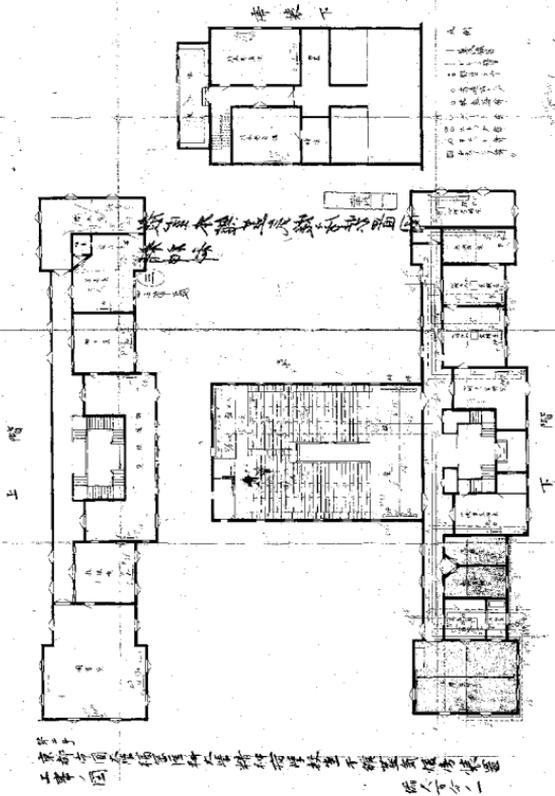


図.042 精神病学教室 一階平面図(右下段)・二階平面図(左下段)・裏装束図(上段)

## ドグラ・マグラの用語

では、まずは『ドグラ・マグラ』を読み解く上に必要な「夢野用語」についての説明から……。

◆(作中作)「ドグラ・マグラ」……夢野久作著『ドグラ・マグラ』の中には、筆者名のない「ドグラ・マグラ」という標題の手書き原稿が出てくる。この原稿は全部で五冊に分かれていて、その第一頁目ごとに赤インキの二頁大の亜刺比亜数字で、I、II、III、IV、Vと番号が打ってある。

標題の「ドグラ・マグラ」という言葉の原義については、切支丹キリシタンバテレンの呪術を指す長崎地方の方言とされたり、幻魔術げんまじゆつもしくは「堂廻目眩どうめぐりめくらみ」「戸惑面喰とまどいめんぐらい」という字を当てて「ドグラ・マグラ」と読ませてもよいとの若林教授の説明がある。

この原稿は九州帝大の精神病科に入院していた若い大学生の患者が正木敬之の死後、不眠不休で一週間で書き上げたもの。夢野久作著『ドグラ・マグラ』と同じく、最初と最後の各一行目が、同じような「……ブウウ——ンンン……ンンン……<sup>(3)</sup>」という柱時計の時鐘じしやうの音となっている。「胎児よ 胎児よ……」で始まる「巻頭歌」やドグラ・マグラと題した「標題」などがあり、この手書

き原稿の内容が夢野久作『ドグラ・マグラ』と一致していることを、夢Qは若林の言葉を借りて強く匂わせている。

◆**呪いの絵巻物**……この絵巻物には、唐の時代に宮廷で玄宗皇帝と楊貴妃（ひび）に仕えた天才画家・呉青秀（ごせいしゅう）によって描かれた未完の九相図（くそうず）が収載されている。呉青秀みずから絞殺した妻・芳黛の死骸の腐敗過程が六段階まで描かれた、いわば「六相図」とでも呼ぶべきもの。黛の双生児（ふたご）の妹・芳芬の手を経て日本に渡来した。六相図のあとには芳芬によって漢文で浄書された由来記が書かれており、さらに巻末には呉一郎の実母・千世子（ちよこ）による正木敬之へ宛てた走り書きが残されている。また、絵巻物の死美人像の第一図と精神科病棟六号室の少女の寝顔は瓜二つである。

他にも多くの謎をもつこの絵巻物は、呉家の代々の男子の心理遺伝による発狂の暗示作用のトリガーとなり、呉青秀の自我を千百年後の現在（いま）にも呼び起こす。

◆**心理遺伝**……心理遺伝とは、何らかの精神科学的の暗示材料により、当人の人格と自我が何代か前の祖先のそれに入れ替わる症状を指す精神病。祖先の記憶は体細胞の中に眠るとされ、正木敬之博士が提唱。

◆**キチガイ地獄外道祭文**……精神病院における患者の非人道的な実状を告発した、赤い表紙の小冊子のこと。「一名、狂人の暗黒時代」。精神病患者救済の世論を喚起するために、面黒樓万児（めんくろまんにじ）の通名で全国放浪中の正木敬之がチョンガレ節（チョンガレ）にのせて大道（だいてう）で歌った祭文歌（さいもんか）が収録されている。末尾には、新治療法の研究施設を新設するための寄付を呼びかける葉書も添えられている。

◆**解放治療場**……精神の遺伝作用の研究を目的として、狂人患者を集めて精神的な暗示と刺激を応用した治療法を試みるために建設された施設のこと。大正15年7月に正木敬之の私費により九州帝国大学構内に完成するも、同年10月19日に大惨劇が発生。

◆**胎児の夢**……「胎児は母の胎内で、原生生物から哺乳類へと続く、生物の進化」という遠大なストーリーの夢を見ており、その夢に符合しながら肉体を変化させ、個体発生している」という学説。この学説によると、胎児は祖先たち一人一人が生前に体感した感覚や感情・思考などの記憶を夢の中で追体験する。西洋のフロイトとユングの理論をヘッケルとダーウィンとアインシュタインの理論で再構築し、さらに東洋の仏教思想と荘子の「胡蝶の夢」や「盧生の夢」を融合させたかのような印象を受ける一大論文。帝大の卒業論文で正木敬之が提唱し、明治40年末に発表。

◆**脳髓論**……「脳髓は物を考える処に非ず」を根本主張とする学説。全身の細胞ひとつひとつは等しく対等に物を考えているとする説。正木敬之が放浪時代に論文にまとめ、大正13年3月に九州帝大の斎藤寿八教授に提出して発表。この説によると、脳髓という器官は、人体を構成する体細胞一粒一粒の間でやりとりされる数十兆もの「細胞の意志」を、相互に移転させる交換局にすぎないとされる。

◆**夢中遊行**……患者の自我が眠っている間に無意識のうちにいろんなことをしてしまつて、眼醒めた時にはそれを覚えていないという症状を指す。「あてもなくフラフラと出歩くこと」をいう場合もあるが、本作品ではそれと区別されている。正木博士曰く、夢中遊行の発作中に限って人間業

では出来そうにないスゴイ仕事をやって退けたりする患者もいるらしい。

◆**離魂病**……患者の今現在の感覚に上書きするように、過去に経験した感覚が幻視・幻聴される症状を指す精神病。非睡眠時に離魂病状態におちいった場合には、無自覚な本人には現実と夢の區別がつかず、完全に、または部分的に現実との接触を失う。その結果、本人は夢を現実として誤認する心の病を発症する。正木博士が提唱。

◆**正木敬之の五つの遺稿**……四百字詰め原稿用紙換算で約千二百枚といわれる夢野久作著『ドグラ・マグラ』の、実に四割以上の文章量を占める膨大な遺稿類。それらの中でも、五番目に登場してくる「空前絶後の遺言書」がダントツの分量を誇る。

ここでは以下、『ドグラ・マグラ』に登場する順にⅠ～Ⅴの番号を振る。

◇遺稿Ⅰ「キチガイ地獄外道祭文」。赤い表紙のパンフレット。

◇遺稿Ⅱ「地球表面は狂人の一大解放治療場」。羅紗紙らしゃがみの台紙に新聞切抜き記事を綴じたもの。

◇遺稿Ⅲ「絶対探偵小説 脳髄は物を考える処に非ず」。脳髄論について正木敬之から取材した内容を新聞記者が文字起こしした原稿。

◇遺稿Ⅳ「胎児の夢」。日本野紙けいしに毛筆で書かれたものを綴じ合わせた、正木敬之の大学卒業論文。のちに提唱する「心理遺伝」論の中核理論をなす。

◇遺稿Ⅴ「空前絶後の遺言書」。正木敬之が西洋大判野紙フイルムスキャップに走り書きしたもの。狂人の解放治療の実験の結果報告ともいえる遺言形式の原稿。

## 注解

(2) 夢野久作著『ドグラ・マグラ』の本文中の説明によると、作中作「ドグラ・マグラ」は全部で五冊に分かれていて、それぞれ第一頁目ごとに赤インキの一頁大の亜刺比亜数字で、「I、II、III、IV、V」と番号が打つてあるのだという。つまり、「ドグラ・マグラ」の原稿はブロックごとに冒頭に「1、2、3、4、5」とアラビア数字が大きく書き込まれている訳だが、『ドグラ・マグラ』の主人公の「私」は、それを目にした瞬間に心中で「I、II、III、IV、V」と羅馬数字に変換して知覚するという離れ技をやつてのけている。これは、前述の六大前提の(VI)項に則れば、英語の弁論を得意とした呉一郎と主人公の「私」が同一人物であるということをも、夢野久作がさり気なくヒントとして忍ばせた高等な叙述トリックと受け取るべきであろう。つまり、「夢Qの原稿の誤字(アラビア数字とローマ数字の取り違い)などではないッ!」と……。

筆者も主人公の「私」を真似て、そんな知覚が実際に可能かどうか試してみることには。

「I、2、3、4、5」……出来た! 不可能ではない。やはり夢Qは天才!!

(3) 松柏館書店版の『ドグラ・マグラ』の原文は以下の通り(リーダー罫は戦前版なので□∥□に換算、表記は新字・新かな)。

その次のページに黒インキのゴチック体で「ドグラ・マグラ」と標題が書いて在るが、作者の名前は無い。

一番最初の第一行が……ブウウ——ンンン……ンンンン……という片仮名の行列から初まって居る様であるが、最終の一行が、やはり……ブウウ——ンンン……ンンンン……という同じ片仮名の行列で終わっている處を見ると、全部一続きの小説みたような物では無いかと思われる。何と

なく人を馬鹿にしたような、キチガイジミた感じのする大部の原稿である。

「……これは何ですか先生……このドグラ・マグラと云うのは……」

この場面で主人公が標本室で発見する「ドグラ・マグラ」の冒頭と末尾のそれぞれの時計の時鐘のオノマトペ（声喩・擬音語）は、戦後に刊行された他社版の『ドグラ・マグラ』でも松柏館書店版とほぼ同じである。ところが、角川文庫版では「……ブウウーシンシンーシンシン……」と、「シン」のあとの二倍分の三点リーダーが二倍分の長音符号になっていて、表記が異なる。本書では前者の松柏館書店版に準じることとした。

(4)「九相」とは仏教用語である。広辞苑によると、「人間の死骸が腐敗して白骨・土灰化するまでの九段階を観想すること。肉体への執着を断ずるために修する」とある。「九相図」は、この人間の死後の姿が九段階で変化する様を描いたもので、修行僧に肉体への執着の滅却と諸行無常を説いた絵図。小野小町など高貴な美女が朽ちる様子を描くことが多い。

(5)八坂圭画伯の表紙画が毎号美しい「月間はかた」の令和3年6月号の特集「楽しく学ぶ、博多芸能史」によると、博多区御供所町の聖福寺（扶桑最初禪窟）の西門のある界隈は、芸どころ・博多の原点となった場所だという。

聖福寺を開いた栄西禅師が宋から博多に戻る際に連れ帰った宋の人々たちは、僧衣と数珠を与えられ、寺内に住まわされました。彼らは念仏踊りなどで布教をしていましたが、言葉や文化の壁から上手くいかず、そのうちに寺で覚えた「祭文」（神仏に捧げることば）にリズムや節を付けて表現する「歌祭文」を生み出しました。なかには歌祭文に合わせて人形を操るなど、独自の芸に発展させる者も出たといえます。やがてさらに変化を遂げて、僧籍を離れて滑稽な歌や舞を披露し、喜捨を受ける俳優へとその存在は変化していきました。

寺内に住むことから彼らは「寺中（役者）」と呼ばれるようになりました。寺中は歌舞伎が流

行すれば、歌舞伎を演じる役者となり各地を巡演して、江戸時代になると福岡藩より興行権も与えられることに。明治時代に浪花節が一代ブームになると、多くは浪花節語りとなり、同業者が西門エリアに集まりました。(後略)

(「博多芸能横丁」と呼ばれた西門エリアが芸どころ博多のはじまり!? から)

この聖福寺の川向こうが『ドグラ・マグラ』の主人公・呉一郎生誕の地と設定されているのである。(6) この遺稿Vは、一見すると冗談半分に書いた遺言書のようにも思えるが、途中、心理遺言附録／各種実例」という見出しが付けられた。附録が収載されている。これは直方と姪浜で発生した殺人事件について若林が捜査した調査書の原本を正木が抜粋したもので、一連の事件の真相に迫る重要な手がかりが秘められている。

## 主要登場人物

さて、それでは次に夢野久著作『ドグラ・マグラ』の主要登場人物について。

◆私……一人称小説『ドグラ・マグラ』の主人公。典型的な信頼できない語り手（悪意なき語り手）である「私」は九州帝国大学医学部・精神病学教室所管の、解放治療場内にある附属病院「精・東・第一病棟」の七号室に隔離収容されている入院患者。「私」は大正15年11月20日と思われる日の午前1時であろうかという時刻に柱時計の時鐘の音で眼醒めるが、それ以前のすべての記憶を喪失していた。大正15年10月19日の「解放治療場の惨劇」と、同年4月26日の「姪浜花嫁殺し事件（姪浜事件）」、ならびに大正13年3月26日の「美人後家殺しの迷宮事件（直方事件）」、これら三件の殺人および殺人未遂事件と「私」は深い関わりをもつとされているのだが……。

自らの記憶を喪失したまったくの手探り状態から、「私」は正木敬之博士が残したという五つの遺稿類を手掛かりに事件の真相に迫っていく。その中で「ドグラ・マグラ」と題された謎の原稿に出合い、一連の事件の謎はさらに深まっていく。

「私」は何者で、なぜ狂人として九州帝大の病室に隔離収容されているのか。記憶喪失者としての「私」の苦悩と謎の殺人事件の真相とが絡みあいながら、やがて物語は信じがたい驚愕の真実へと収斂しゅうれんされてゆく……。

◆呉一郎……：「解放治療場の惨劇」、「姪浜花嫁殺し事件」、「美人後家殺しの迷宮事件」、これら三件の凶悪殺人事件を引き起こしたとされる被疑者。もともと善良かつ頭脳明晰な美青年であったが、祖先から受け継いだ「心理遺伝」によって人格が唐の玄宗皇帝げんそうに仕えた宮廷画家・呉青秀ごせいしゅうに入れ替わり、一連の殺人事件を引き起こしたのだという。しかし、事件の捜査に学術面から協力する若林鏡太郎博士は、裏には隠れたる真犯人「怪魔人」が存在し、これらの事件の糸を操っていると睨にらんでいる。おそらく呉一郎であろうと思われる「私」は、若林鏡太郎の協力を得て正木敬之の遺稿類を頼りに事件の真相に迫っていく。

◆呉モヨ子……：呪われた狂人の家系・呉家に生を享けた、本作品のヒロイン。匂いたつような可憐な美少女だったが、呉家でその血脈を受け継ぐ若者も、とうとうモヨ子と一郎の二人を数えるまでに家勢は細りきっていた。呉家の血統存続のためというお家事情とは別に、真心から義兄ぎけい一郎を恋慕うモヨ子であったが、結婚式の前の晩に、絵巻物の呪いで殺人鬼・呉青秀の人格に入れ替わった一郎に絞殺されてしまう。年齢よい十六でその命も果てたと思われたモヨ子だったが、実は……。

◆六号室の少女……：本作品の主人公である「私」の隣室・六号室に隔離収容された謎の少女。「私」のことを「お兄さま」と呼び、呉一郎であると信じて疑わない美少女である。彼女は「私」

に、自分が呉一郎の従妹イトコであり、かつ彼の義妹いもこであり、さらには婚約者であったのだと病室の分厚いコンクリートの壁越しに告げる。呉一郎との結婚式の前の晩に「お兄さま」の手にかかって絶命したものの、その後チャント生き返って、今はこうして六号室にいる……というのだった。

若林鏡太郎の説明では、彼女は祖先からの呪わしい「心理遺伝」のために、人格が唐の玄宗皇帝の時代の楊貴妃の侍女であった芳芬ほうふんにしばしば入れ替わるらしい。彼女もまた記憶障害のために、若林鏡太郎から尋ねられても自らの名前が分からず、ただ「私」が自分の「お兄さま」であるという以外には何も分からないと答えるのだが……。

◆若林鏡太郎……「解放治療場の惨劇」、「姪浜花嫁殺し事件」、「美人後家殺しの迷宮事件」、これら三件の殺人事件の謎を追う九州帝国大学医学部在籍の法医学者。九州帝大の医学部長であり、専門の法医学教授に加えて、大正15（1926）年10月末以降は後任不在の精神病学教授を兼任。法医学界の権威であり、過去に数々の難事件を解決に導いた実績から「迷宮破りめいきゅうやぶ」の異名も持つ。

三件の殺人事件は精神に異常をきたした狂人・呉一郎による犯行と思われるが、若林はその背後に隠れたる真犯人「怪魔人」がいて糸を操あやつっていると睨にらみ、一連の事件の真相を追っている。そのために「私」に前任の精神病学教授・正木敬之の遺稿類を与えて、事件解決の鍵を握るとみられる「私」の過去の記憶の回復に協力しているのだが……。

◆正木敬之……九州帝大精神病学教室の前任の主任教授。研究狂兼誇大妄想狂を自認する天才肌の研究者。若林とは同郷で、九州帝大在学中は学業に恋にとその覇を競った好敵手の間柄。

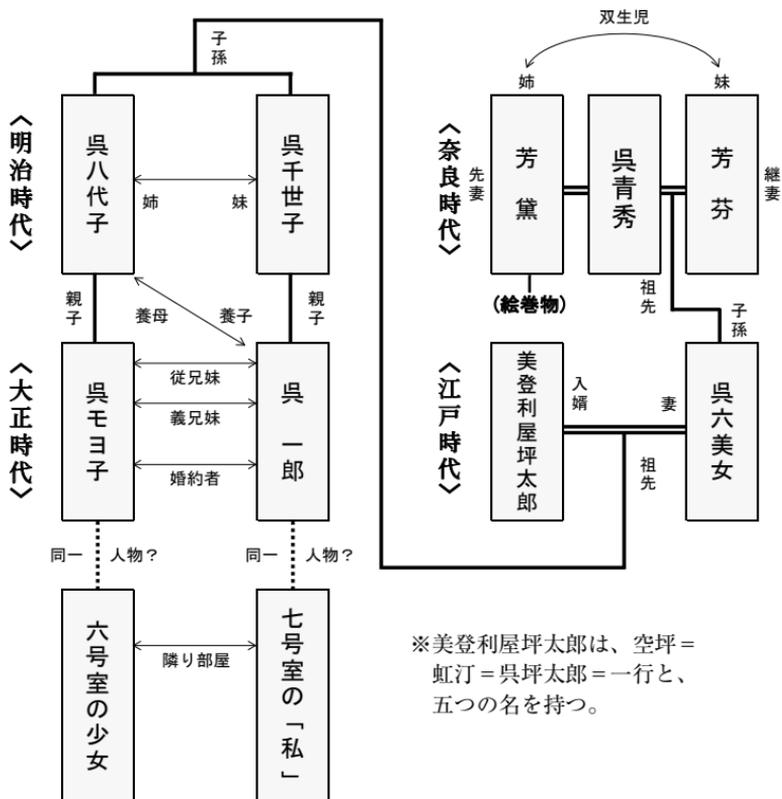
明治40（1907）年に帝大第一期生中首席で卒業を果たすが、卒業式の二日前に蒸発して世界放浪の旅に出る。10年後の大正6（1917）年に帰国後、自作の「キチガイ地獄外道祭文」をチヨンガレ節の節回しにのせて唄って回り日本各地を放浪するも、大正14（1925）年10月19日の恩師・斎藤寿八じゅはちの死を機に母校に戻り、翌15（1926）年2月に斎藤教授の後任として九大精神病学教室の教授職に就く。

新学説「胎児の夢」や「脳髓論」、「狂人の解放治療」の提唱者で、精神病患者の治療場と称して同年7月、九州帝大構内に「解放治療場」を私費で創設する。その後、4ヶ月間の学術実験の後に、自らの研究が仇あだとなつて10月20日に自殺……と思われていたが、1ヶ月後の11月20日に彼の「遺言書」を読んでいた「私」の眼前に突如、出現する！

◆呉千世子……呉一郎の実母。「直方事件」で呉一郎か、あるいは謎の怪魔人に殺害されたとされる。若き頃よりの美貌の持ち主で、学生時代には「虹野ミギワにじの」の変名を使って多くの男性と浮名を流し、当時の知人からは「男喰い」と噂されていた。

勝気な娘時代であつたらしく、17歳で県立女学校を首席で卒業。刺繡ししゅうに堪能で、幻の技法とされる唐代の「縫い潰しぬつぶ」を縫い上げることができた。若林鏡太郎や正木敬之とも、それぞれ入れ替わりに同棲関係にあつた過去を持つ。一人息子である呉一郎を女手ひとつで育て上げ、一郎の実父の正体を、姉の八代子やよこにも一郎本人にも告げぬまま他界する。生前に一時期、密かに「呪いの絵巻物」を所持していたことがあり、一連の事件の謎を解く重要なヒントをその巻末に書き残していた。

## 《吳家系譜図》



※美登利屋坪太郎は、空坪 = 虹汀 = 吳坪太郎 = 一行と、五つの名を持つ。

## あらすじ〈23時間編〉

『ドグラ・マグラ』のあらすじを手っ取り早くまとめると……主人公である「私」の、おそらく大正15年11月20日と思われる日の1時から24時<sup>②</sup>までの23時間の物語である。

## ◆あらすじ〈23時間編〉

「私」(主人公)は、柱時計の時鐘じしょうの音とともに、九州帝大の精神病学教室が所管する附属病院「精・東・第一病棟」の七号室で眼醒めざめる。気が付くと、自分が記憶を喪失していることを知る。「私」を「お兄様」と呼ぶ隣室の美少女と対面するも、記憶は蘇よみがえらない。

一方、九大の前任と前々任の精神病学教授二人が一年毎に変死した事件があったことを、現在同科教授職を兼任する若林鏡太郎から聞かされる。若林は「私」の過去の記憶を蘇らせるために、一ヶ月前に自殺した正木敬之博士の遺稿類を精神病学教室本館・二階の標本室で「私」に与えて記憶の回復を促す。「私」は正木博士の遺稿を読み進むうちに、過去に三件の殺人事件が発生していたことを知り、その被疑者が自分なのかもしれないと感じ始める。

「私」がそれらの遺稿類をすべて読み終えると同時に、突然、目の前に自殺したはずの正木博士が出現。正木との会話の後に、「私」は千百余年前から呉家に降りかかる呪いの歴史と、呉一郎が何者であったかを知る。その後「私」は、正午の午砲（ドン）と同時に九大を飛び出して街の中を彷徨い、いつしか意識が混濁、気が付くと元の精神病学教室の標本室に戻っていた。

夜遅くに目覚めた「私」は、新聞号外記事や正木博士が若林に宛てて書いた官製端書の遺書を読み、すべての事件の顛末を知る。それから「私」はフラフラと七号室に戻るが、柱時計の時鐘の音ともにかつての惨劇のフラッシュバックが次々に起こり、「私」はそれらを見つつ失神してゆく……。

あらずじA……（さらに詳細なシナリオ説明）

(1)「……………ブウウ——ン——ン——ン……………」と柱時計が鳴り響く深夜、九州帝大の精神病科「精・東・第一病棟」の七号室で「私」は眼醒める。↓(2)窓の磨硝子に映った、髪の毛のモジャモジャとした悪鬼のような「私」自身の影法師を見る。↓(3)自分の記憶喪失に気付いた「私」は叫び声をあげる。隣りの六号室から聞こえてくる謎の少女の声を聞きつつ、次第に意識が薄らいでゆく。↓(4)早朝に目覚めた「私」は朝食をとり、若林鏡太郎に会う。七号室で散髪後に6時4分に退室。西洋館で入浴後に大学生の身支度をさせられ、6時23分に腕時計をつける。↓(5)その姿で、心理遺伝の症状を呈することがあるという六号室の美少女と対面して会話するも、まるで記憶は蘇らない。そのあと若林と「私」は、一旦七号室へ戻る。↓(6)七号室を退出し

精神病学教室本館二階の標本室へ移動。記憶を喚び起こすために、部屋のどこかに陳列してあるという「私」の過去の記念物を探り当てる試験を受ける。↓(7)その試験で、正木敬之の自殺後に若い大学生生者が書いたという「ドグラ・マグラ」の原稿を見つけた「私」は、標題と巻頭歌と本文の一行目と最終行のみに目を通す。↓(8)正木敬之の九大入学時から卒業後の放浪時代のことと、斎藤教授の変死から葬儀の場での正木と学長とのやり取りまでのあらましを若林鏡太郎から聞く。↓(9)若林鏡太郎から「今日は大正15年の11月20日」と告げられる。↓(10)喪失した記憶回復の鍵として、脳髓論の提唱者・正木敬之の五つの遺稿類を読むよう若林鏡太郎から促された「私」は、椅子に腰かけたまま夢中になって読み始める。↓(11)遺稿の読了直後に正木敬之が出現。「私」は「ワツ……正木先生……」と驚き、彼との会話から自分が何者なのか思考を深めてゆく。↓(12)離魂病を発症した状態で、大惨劇が発生する直前の解放治療場の様子が見えたり、舞踏狂ぶとうきやうの少女の唄うたが聞こえたりする。↓(13)突然、額の痛みを自覚する「私」。標本室の扉をノックしてテカテカ頭の老小ろうこ使いが入ってきて、若林からの差し入れのカステーラを正木に渡す。↓(14)正木敬之が卓上のメリンスメリンスの風呂敷包みを解いて、呪いの絵巻物と、その由来記の写しと、殺人事件調査書類を取り出して「私」に説明する。↓(15)正木敬之が呉家の祖先と絵巻物誕生の逸話を語り、次いで医学生時代の自身や若林と千世子の因縁話を告白する。↓(16)正木を退散させた後に「私」は絵巻物の紐を解き、巻末まで拡げて、呉千世子の謎解きの文字を発見する！ 驚愕した「私」は絵巻物を巻き戻そうとするが手がふるえて取り落とす。↓(17)リノリウムの床の上をクルクルと拡がってゆく絵巻物。標本室を飛び出

した「私」は正午の午砲（ドン）が鳴ると同時に、九大の外へと遁走<sup>とんそう</sup>。そのまま何処<sup>いずこ</sup>かを徘徊<sup>はいかい</sup>しながら、次第に意識が混濁してゆく。↓(18)いつしか「私」は九大の中のもとした精神病学教室本館二階の標本室に戻っていた。↓(19)最前のように椅子に腰をかけて、机の上に両手を投げ出して突っ伏した格好で寝込む「私」。↓(20)目覚めると、衣服も靴も汗と塵埃<sup>ほこり</sup>まみれで、ズボンが膝が破れて泥まみれ。↓(21)「不思議だ。夢だったのかしら」と思い、「私」は机の上の青いメリンスの風呂敷包みを拵<sup>たづね</sup>げて絵巻物と殺人事件の調査書類を取り出す。↓(22)調査書類の下から新聞号外と官製端書に書かれた正木の若林に宛てた遺書を発見し、「私」は一連の事件のその後の顛末を知り標本室を出てゆく。↓(23)「精・東・第一病棟」の七号室の扉を開いて中に入り、寝台の上にドタリと横たわる「私」。↓(24)隣室の六号室の少女の声を聞きながら、「私」は胎児の夢のことを考える。↓(25)深夜24時の柱時計の時鐘が鳴っている最中に、「私」の眼前に過去の惨劇のフラッシュバックが次々に出現してくる。↓(26)「私」は驚いて飛び起き、駆け出して額から壁にぶつかり失神。その間に、「私」とソックリな顔が闇の中に浮き出す。「……アッ……呉青秀……」↓(27)「……ブウウウ………ンン………ンンン………」という柱時計の時鐘の音。

### 注解

(7) 夢野久作著『ドグラ・マグラ』の結末部が24時であるということは、物語の最後の場面で連続して鳴り響く柱時計の時鐘の回数をカウントすることで推測可能である。隣室のモヨ子の痛々しい泣き声がピツタリと止んだ際の「……ブ……シンシン……」という柱時計の時鐘の音が1回目以下、「……ブ——ン……」が5回、「……ブ——んくくく……」で5回分、そしてラストの「……ブウウウ……シン……シン……」の1回分を足すと、合計で12回だと分かる。すなわち、この時の時刻が午後12時であったと推断できるのである。

『ドグラ・マグラ』の物語の始まりの「……ブウウ——シン——シン……」が午前1時であると推理できる論理過程については、夢Qが張り巡らせた伏線を回収して、本シリーズの五巻目で主人公Iが若林教授にタネ明かしているプロットを用意しているので、乞う、ご期待！

(8) フラッシュバックを広辞苑で引くと、「過去の強烈な体験が突然脳裏によりみがえること。↓ピ・ティー・エス・デー(P.T.S.D)」とある。

## あらすじ〈千百年編〉

『ドグラ・マグラ』のあらすじを別角度から眺めると、前段のあらすじ〈23時間編〉で触れた「千百年前から呉家くれけに降りかかる呪いの歴史」として捉えることができる。この絵巻物にまつわる呉家の歴史は、生前の正木博士の証言とその遺稿類を手掛かりに、四つの時代に分けて理解することができる。以下、各時代別の主要登場人物名を挙げる。

奈良時代……玄宗皇帝、楊貴妃、呉青秀、芳黛、芳芬、呉忠雄、勝空。

江戸時代……呉六美女くれむつみじよ、美登利屋坪太郎みどりやつぼたろう、雲井喜三郎くもいきさぶらう。

明治時代……呉千世子、呉八代子、正木敬之、若林鏡太郎、斎藤寿八。

大正時代……呉一郎、呉モヨ子、呉千世子、呉八代子、正木敬之、若林鏡太郎、斎藤寿八。

次に、この千百年の物語としてのドグラ・マグラのあらすじを、ややミステリーの種明かしも含めながら各時代別に述べてみる。

◆奈良時代……中国では唐代。盛唐末期、忠君愛国の志をもつ宮廷画家・呉青秀は、楊貴妃を溺愛して政を顧みない玄宗皇帝の迷夢を自らの彩筆を以て醒ますべく、元宮廷女官の新妻を殺めてその屍の腐敗過程を描いて絵巻物にして献上することを決意する。夫から崇高な志を打ち明けられて感激する芳黛。彼女の快諾のもと山中の画房で妻を絞殺すると、呉青秀は死美人の腐敗画像を第六図まで描いたところで筆を止める。「美の滅亡」を眺めて写生するうちに変態性欲の虜となった呉青秀は、新たなモデルを求めて鋏で女人を殺めたり、新墓を発掘したりする殺人鬼へと変貌していた。やがて村人に画房を焼かれた呉青秀は都の邸宅へ逃げ帰って自殺をはかるが、間一髪、義兄に恋焦がれていた黛の双生児の妹・芳芬に命を救われる。芬から安祿山の謀反を聞いた呉青秀は、皇帝と楊貴妃の死に忠義の宛てを失い自我崩壊状態となる。

その後、白痴となった義兄の手を引いて方々を流浪する芳芬。二人は舟に乗って長江を下る。海に浮かび嵐に遭い漂流するも、日本に向かう渤海使の船に救われる。呉青秀は洋上に消え、その忘れ形見の呉忠雄を船上で産んだ芳芬は日本に運ばれて、唐津の地で土地の豪族、松浦氏に託される。その地で芳芬は勝空と名乗る旅の僧と出会い、求められて死せる姉の裸像を呉青秀が絵筆に留めた絵巻物を見せる。經典に親しみ心理遺伝の理屈を悟り得ていた勝空は呉家の裏庭の梅檀樹の大木を伐り倒して赤肉に弥勒菩薩座像を刻み、その胎内に絵巻物を封じる。そして「向後仏壇の奉仕と巻物の披見は呉家の女人のみを以てし、その他の男は一切見るべからず」と固く禁制し去っていった。

二年後、呉家の本尊となった仏像から取り出した絵巻物の余白に、それまでの経緯を由来記として漢文で浄書する芳芬。呉家初代となった息子の呉忠雄は「壮年に及びて子宝幾人を設けし後、又も妻女の早世に遭ふとひとしく乱心仕りて相果て候」と、江戸期の呉家の口伝にはあるのだった。

◆江戸時代……慶安（1648～52年）の頃、京都の茶舗美登利屋の主人・坪右衛門は男子を授かり、坪太郎と名付けて隠元禪師のもとで学問の研鑽を積ませていた。坪太郎は長じて柳生の剣術を修めると、俳諧から大和絵までを嗜む文武両道の青年へと成長した。そして名を空坪と号して家を捨て、名勝旧跡を探り歩く遊行の旅に出る。翌年、肥前唐津に到った空坪は、虹ノ松原の景勝に感じ入って名を虹汀と改める。

八景を選んで筆紙を展べ、滞ること半年あまり。晩秋の満月の夜のこと、月影に誘われて浜辺を散策していた虹汀は、華やかな袖を翻し身投げする気配の美しい乙女を救った。彼女の名は呉六美女。聞けば、祖先より伝わる絵巻物が家中にあり、それを盗み見た呉家の男子は代々発狂し、若い女人を殺めては自殺するのだという。この噂がスツカリ近隣に広がり、富農にもかかわらず呉家は嫁婿の来手が稀で、その血筋も六美女一人を残すばかりとなっていた。

かかる折から、唐津藩家老の妾腹・雲井喜三郎との縁談話が呉家にもたらされる。この喜三郎、剣術の腕前こそ藩内随一であったが、乱暴狼藉三昧の鼻摘まみ者で、今回の婿入り話も実は財産目当てのものであった。その喜三郎が今夕、前触れもなく呉家に現れると奥座敷の酒席で六美女に絡

み、制する乳母めのとを抜く手も見せず、斬り捨てた。隙すきを見てようやくここまで逃げて来たが、我が身の不倖ふしあわせを想い、入水じゆすい自殺を図ろうとしたのだと涙する。直後、跡を追ってきた喜三郎の襲撃を躲かわした虹汀は、六美女を呉家に連れ帰る。乳母の亡骸なきがらを弔とむらい、仏間に一人で入り三昧さんまいすること十日余り、虹汀は弥勒座像の胎中から取り出した絵巻物は法力によって呪いを祓はらい焼き棄てたと家人に告げる。そして、自身は還俗げんそくして六美女の婿となる。

虹汀は国老雲井家の報復を逃れるために唐津を離れることを決意、六美女の手を引いて逃避行に明け方、二三十人の捕吏とりてを引き連れて喜三郎が追い付くが、雪中の決闘を制して虹汀は悠々と筑前黒田領に入り、姪浜めいはまの地を永住の地と定める。そこで田畑を買い求め、呉家の菩提寺・青黛山如月寺を建立した虹汀はみずから住職となり、法名を一行いちぎょうと称し、如月寺の縁起書を記すのだった。

◆明治時代……日露戦争開戦前夜、千葉県出身の正木敬之と若林鏡太郎は福岡に新設された帝国大学に入学する。正木は精神病学、若林は法医学とその進路は違ったが、共に精神科学方面の研究に興味を示し、迷信や暗示に関する研究の権威である斎藤寿八博士の薫陶くんとうを受けていた。その二人に姪浜の豪農にまつわる呪いの噂が届く。その呉家の男子は先祖伝来の絵巻物を見ると代々発狂し、女人を殺めた後に決まって自殺を図るのだという。

この呪いの遺伝の存在を知った二人は、胸中に恐るべき計画を抱くいだ。即ち、呉家の娘に自分の胤たねで男児を産ませ、その子の成長を待って絵巻物を見せれば呪いの遺伝に関する人体実験ができると

いう計画である。以後、一致協力して呪いの調査を始めた二人は如月寺の和尚おじょうに巧みに取り入り、若林が寺の縁起書を盗み写している間に、正木は御本尊の弥勒座像の首を引き抜いてみるといった調子で、江戸期に虹汀が焼き棄てた事になっていた絵巻物が実は燃やされずに、ツイこの間まで御本尊の胎中に隠されていたという痕跡を掴むつか。探りを入れると、どうやら姉妹の妹の方が絵巻物を見つけて隠し持っているらしいところまでは分かったが、二人の連携はそこまでで、以後は絵巻物と呉家の娘の争奪戦が開始される。

呉家には妙齢の娘が二人いたが、姉の八代子やよこは既婚者であったために、狙いは絵巻物の所有者でもあるらしい妹の千世子ちよこに絞られた。その頃、千世子は女学校を卒業し、自由恋愛に憧れながら虹野ミギワの変名で翠糸女塾すいしという裁縫学校に通っていた。二人の帝大生から突然、アプローチを受けた千世子は最初、若林と交際し同棲するが、正木の毘もとにより若林の許を去ると入れ替わりに正木との同棲生活に入る。その端境はざかいに身籠った千世子は十月十日後の明治40年11月22日に御笠川みかさの畔ほとりの松園まつぞのの隠れ家⑩で玉のような男児を出産する。千世子は絵巻物の巻末の余白に正木に宛てた和歌を記すと、同年11月26日から12月9日までの間に再び元の如月寺の弥勒座像の胎内に戻す。

出産後の気の緩みを衝ついて千世子から絵巻物の隠し場所を訊き出せたと確信した正木は、卒業式の二日前にひそかに絵巻物を盗み出すことに成功する。そして故郷の財産整理と母子の入籍手続きでいったん帰省するといつて千世子を納得させると、その日のうちに母校の卒業式をスッポカシて上京。そのまま故郷へは帰らずに東京へ転籍の手続きをして全速力で海外へと飛び出した。

12月12日の帝国大学の第一回卒業式は首席卒業者であった正木不在のままにお開きとなり、さき  
 に侃侃諤諤かんかんがくがくの教授会議の末に卒業論文中第一位と決していた正木の「胎児の夢」毛筆原稿と、明治  
 天皇より下賜かされた「恩賜おんしの銀時計」が大学側には残された。翌日、正木より盛山学部長に書信が  
 届く。そこには「胎児の夢を理解できる者が自分以外にいるとは、研究が未熟で合わす顔がない。  
 次はキット、何人にも理解されない大研究を成し遂げるつもりなので、自分のあいだ恩賜の時計は  
 大学側で保管願なんびといたい」旨が認められていた。

千世子は戻ってこない正木を探すために、赤ん坊を抱いて上京、息子の出生届を「明治40年11月  
 20日、東京府駒沢村にて誕生。父不詳——呉一郎」と、日付と場所を偽って提出する。その後、千  
 世子は、駒沢↓金杉↓小梅↓三本木↓麻布笄町まほづかいちよといった順で転居を繰り返すが、これは親子の消  
 息を追う不気味な視線を感じてのものであった。一方、姪浜では明治43年正月すぎに八代子が夫の  
 源吉げんきちと離別し、それから日をあけず娘のモヨ子を出産していた。このモヨ子と一郎が出会うのは、  
 それから14年後の  
 大正13年4月3日のことである。

◆大正時代……大正4年。千世子は学齢に達した一郎を連れて東京を離れ、福岡県直方町のちがたへと転居、  
 住居兼私塾「つくし女塾」で新生活を始める。それを陰から見届けた若林は同年、英国留学へ。

この頃、正木は米国を経由して欧州各地を巡遊、塊・独・仏の名誉ある学位を取得していた。

大正6年、若林が英国から帰国するとの情報を察知した正木は、十年間の欧米滞在を切り上げて

帰朝。九大法医学部教授に昇進した若林の動静を手掛かりに、呉親子の隠れ家突き止めた。正木は直方小学校で美しい顔に憧れた瞳の一郎と対面するも、純真無垢な少年の姿を前に学術実験の十字架に架ける決心が揺らぐ。

良心と研究欲の絡み合いの煩悶から、正木は自ら作歌した「キチガイ地獄外道祭文」を謡って日本各地を廻る放浪生活へ。しかし、個人としての良心は学術の研究欲に負ける。正木は「狂人の暗黒時代」と、その内に蔓延する「キチガイ地獄」を自らの学説の力で打ち破るべく、何もかも打ち忘れて盲進する当初の意気組を回復する。そうして、冷静なる残忍さを以て一郎の年齢を指折り数え得るようになるのだった。

読者にミステリーとしての『ドグラ・マグラ』の謎解きの楽しみを残しておくために、以下にはその後の主な事件の日時や場所などを挙げるに止める。

**美人後家殺しの迷宮事件** 大正13年3月26日2時頃。直方、つくし女塾。

死亡・呉千世子。死因・絞死。春休みで帰省中の福岡高等学校生徒・呉一郎による夢中遊行状態での絞殺か、または怪魔人による絞殺。状況として、殺害後に縊死と見せかけるための偽装工作が認められる。

**斎藤教授変死事件** 大正14年10月19日未明。九州帝大裏、筥崎水族館裏手海岸、馬出浜。

死亡・斎藤寿八。死因・溺死。状況として、泥酔による転落事故死か、または怪魔人による殺人

の可能性。

姪浜花嫁殺し事件 大正15年4月26日2時過ぎ。姪浜、呉家、三番土蔵<sup>くら</sup>二階。

死亡(?)・呉モヨ子。死因(?)・絞首。同日夜明け頃に、呉八代子頭部致傷。被疑者は共に呉一郎。

屍体解剖室内の奇怪事<sup>しっかいじ</sup> 大正15年4月26日23時過ぎ。九州帝大、法医学教室、屍体解剖室。

蘇生・呉モヨ子。施術者・黒怪人物。仮死状態からの蘇生、および屍体すり替えの偽装工作(?)。

正木・若林両博士の会談 大正15年5月2日15時頃。九州帝大、精神病学教室本館、標本室。

会談者・正木敬之、若林鏡太郎。内容は呉一郎の精神鑑定依頼。

正木博士による呉一郎の精神鑑定 大正15年5月3日9時。福岡地方裁判所応接室。

被鑑定者・呉一郎。鑑定人・正木敬之。立会人・若林鏡太郎、大塚警部、鈴木予審判事、二人の廷丁<sup>ていじやう</sup>。

解放治療場に呉一郎が現われた最初の日 大正15年7月7日。九州帝大、精神病学教室所管、解放治療場。

放治療場。

実験者・正木敬之。被験者・呉一郎。他に7人の狂人たち。

解放治療場2ヶ月目の呉一郎 大正15年9月10日。九州帝大、精神病学教室所管、解放治療場。

実験者・正木敬之。被験者・呉一郎。他に9人の狂人たち。

解放治療場の惨劇 大正15年10月19日正午。九州帝大、精神病学教室所管、解放治療場。

死亡・瘠やせた少女（浅田シノ）、舞踏狂の少女（お垂さげ髪の娘）。死因・ともに頭蓋骨粉碎骨折。重傷・甘粕藤太、毬栗頭のあまなとうた小男、髻ひげだらけの大男。被疑者・呉一郎。

若林教授による六号室への少女移送 大正15年10月19日21時前後の一時。九州帝大、精神病学教室所管、解放治療場、附属病院「精・東・第一病棟」第六号室。

正木博士投身自殺 大正15年10月20日15時頃。九州帝大裏、筥崎水族館裏手海岸、馬出浜。

死亡・正木敬之。死因・溺死。状況として、鉄製の狂人用手枷足枷を以て緊縛後に投身の可能性。姪浜の大火、如月寺延焼 大正15年10月20日18時頃。姪浜、呉家および如月寺。

死亡・呉八代子。死因・焼死。状況として、錯乱興奮後に自宅放火。延焼した菩提寺の猛火に飛び込み焼死の可能性。

### 注解

(9) ドグラ・マグラの作中には、呉一郎の母・千世子が16歳（満年齢）当時に通っていた裁縫学校として「翠糸女塾」なるものが登場する。この裁縫塾の名として冠せられた「翠」は雌のカワセミの意。また、カワセミの羽根の色のように美しく鮮やかな緑色の意もある。

現在の福岡市博多区大博町大浜には、江戸期から明治期にかけて福岡最大の遊里の郷として三年栄えた旧・柳町があった。ここには明治15（1882）年、「翠糸学校」が開校されて、当時、遊

郭で働く芸娼妓たちが習字・算盤・茶の湯・生け花・裁縫・礼儀作法などを学んでいた。芸者や娼妓らに基礎教育を与えた遊郭は当時珍しく、福岡の他には富山県富山市の「女紅場」と福井県三国町の「歌川学舎」の二校があるのみだった。

もともと博多の大浜にあった柳町は、九州では長崎の丸山や熊本の本木と並び称された大規模な遊郭街だったが、明治36（1903）年に川ひとつ隔てた近隣に帝国大学が新設されると学生や教員連中の勉学の妨げになるとして、明治42（1909）年から翌年にかけて妓楼が曲輪ごと3キロほど南の新柳町（現・福岡市中央区清川）へと強制移転させられた（こちらも一方は川だった）。移転先の新遊郭街の入り口には、春風緑柳飛鳳凰／夜雨青燈引鸚鵡と彫られた石門が立ち、その門を入ってすぐ右側には交番と遊郭組合事務所が置かれ、その隣りが二階建て木造校舎の翠糸学校だった。この芸娼妓たちの学校は新柳町が昭和20（1945）年の福岡大空襲で焼失するまで同地に存続した。（参考文献・リベラシオンNo.157 公益社団法人福岡県人権研究所）

これは筆者の推測であるが、夢野久作はこの「翠糸学校」の名から呉千世子が通う裁縫学校を「翠糸女塾」と名付けたのではないだろうかと思う。塾主の松村マツ子女史の名は、身売りした時の借金（減らない借金）のカタに取られて楼主の暴力と監視のもと、着飾った娼妓が張見世という格子の牢獄の中で往來の男たちの視線にさらされてジツと待つ姿から、久作が着想したものではなかったかと。「張見世」は、大正5（1916）年までは日本の法律では合法とされていたのである。

ちなみに、ドグラ・マグラの作中で「翠糸女塾」の所在地とされた水茶屋の地（現・福岡市博多区千代2丁目）には、明治大正期に柳町とは別の遊里があり、満洲帰りの芸者（いわゆる馬賊芸者）で人気を博した「水茶屋券番」があった。こちらの芸妓の方が柳町、新柳町よりも格が上とされた。

余談ではあるが、水茶屋にあった最上級の料亭旅館の「常盤館」は辛亥革命前夜に玄洋社が孫文を匿っていた場所である。そもそも常盤館の前身の若松屋は功山寺拳兵の直前まで筑前勤王党が手配し

て高杉晋作が潜伏していた隠れ家としても知られる。

(10) 千世子が一郎を産んだ松園は、博多の聖福寺とは御笠川を挟んで対岸の位置にあり、現在の県立福岡高校の付近。将来「呉一郎生誕の地」の電柱看板を設置するときには、福岡高校近辺が望ましい。福岡高校の前身は、旧制・福岡中学で、久作の長男・杉山龍丸の母校でもあった。なお、ここでいう電柱看板とは、その地にゆかりのある人物や史実などを案内する「電柱歴史案内」のこと。創業百年を超える

博多の老舗額縁店店主・立石武泰さんが主宰する市民団体ハカタ・リバイバル・プランが、「電柱歴史案内2000本プロジェクト」の一環として現在まで120ヶ所に設置中のもの。都市景観賞広告賞（福岡市）、屋外広告景観賞（福岡県）、手づくり郷土賞（国交省）などを受賞。立石さんは、エコ・ミュゼはかた博物館と銘打って屋根のない博物館をコンセプトに、博多2000年の歴史を包む「ミュゼの額縁」の完成を目指している。

(11) 九州帝国大学医学部の第一回卒業式典は明治40年12月12日に挙行されている（出典：『九州大医学部五十年史』、1953年、九州大学医学部五十年記念会刊）。



## 付論3 脳髓の迷宮やぶり

『ドグラ・マグラ』は、一種の脳髓の地獄と形容されることがある。これは作中で若林鏡太郎が主人公の「私」に語る次の解説が出どころとなっているように思われる。

……このドグラ・マグラという言葉は、維新前後までは切支丹キリシタン伴天連バテレンの使う幻魔術のことをい  
った長崎地方の方言だそうで、只今では単に手品とか、トリックとかいう意味にしか使われて  
いない一種の廢語同様の言葉だそうです。語源、系統なんぞは、まだ判明致しませぬが、強い  
て訳しますれば今の幻魔術もしくは『堂廻目眩どうわりめくらみ』『戸惑面喰とまどいめんぐらい』という字を当てて、おなじよう  
に『ドグラ・マグラ』と読ませてもよろしいというお話ですが、いずれにしましてもそのよう  
な意味の全部を引くくるめたような言葉には相違御座いませぬ。……つまりこの原稿の内容が、  
徹頭徹尾、そういったような意味の極度にグロテスクな、端的にエロチックな、徹底的に探偵

小説式な、同時にドコドコまでもノンセンスな……「種の脳髓の地獄……もしくは心理的な迷宮遊びといったようなトリックでもって充実させられておりますために、斯様な名前を附けたものである」と考えられます

夢野久作著『ドグラ・マグラ』はその作中で、九州帝国大学の精神病学教室の附属病院に入院していた若い大学生患者が、作品の標題と同じ「ドグラ・マグラ」という原稿を執筆し、後日その原稿を記憶喪失状態の主人公「私」が発見し手に取っている。つまり、現実世界で「私たち」読者が手にしている『ドグラ・マグラ』の中で、主人公の「私」もまた「ドグラ・マグラ」という標題の手書き原稿を手にしてページをめくっている訳だ。しかも、その「ドグラ・マグラ」には夢Qのソレと一言一句おなじ、巻頭歌<sup>かんとうか</sup>が収載されているばかりか、物語冒頭の第一行目と物語末尾の一行が、ともに「……ブウウ——ンンン……ンンンン……」となっているのである。(180頁の注解21を参照)

このことから『ドグラ・マグラ』のページをめくった読者は、次のように空想せずにはいられないだろう。すなわち……、

読者の私が読む夢野久作著『ドグラ・マグラ』の中には、主人公の「私」が読む「ドグラ・マグラ」が存在し、その「ドグラ・マグラ」の中にも、さらに私が読む「ドグラ・マグラ」

が存在し……、その「ドグラ・マグラ」の中には主人公の私を読む「ドグラ・マグラ」が存在し、その「ドグラ・マグラ」の中にも、さらに……

というように、マトリョーシカ人形のような入れ子構造が、延々と続いているのではあるまいかと。

しかも、それらの無限の階層をなすドグラ・マグラの一冊一冊が、最初と最後の各々一行が「…ブウウー——ンンン……ンンン……」と記述された堂々巡りの物語となっており、それはまるで『ツアラトウストラはかく語りき』でフリードリヒ・ニーチエが提唱していた<sup>えいごうかい</sup>「永劫回帰」のような、無限に円環するウロボロス（尾を飲み込む蛇）のような構造となっているのではあるまいかと。

さらに、この<sup>ル</sup>「脳髓の地獄」にモウ一步深く足を踏み入れて想像をすれば、——「あらすじB」の(12)（本文149頁）で説明したように——主人公「私」の見る夢の中にも夢が存在していることから……、

「私」が見ている「夢」の中に「私」がいて、その「私」が見ている「夢」の中にもさらに「私」がいて、その「私」が見ている「夢」の中にもさらに……

といった具合に<sup>ル</sup>「夢の無限マトリョーシカ」が、それこそ延々と夢の彼方まで<sup>かなた</sup>連なっているのではなからうか？ とさえ思えてくる。



このように『ドグラ・マグラ』は、まるで……

微睡むウロボロスの胎内に夢見る小さなウロボロスがいて、そのウロボロスの胎内にも微睡む夢見るウロボロスがいて、さらに、そのウロボロスの胎内に夢見る小さなウロボロスがいて、そのウロボロスの胎内にも微睡み夢見る……

といった具合に、ウロボロスに象徴される永劫回帰の物語を、無限に内包し続ける夢の物語として読み取れなくもないのだ。そして、この「夢の無限回廊」に迷い込んだ読者の多くは悪夢のような独特の醜悪感に苛まれることになる訳だ。

筆者の考えでは、作中の主人公の正体は、大正15年10月20日に経験した丸一日の出来事を一ヶ月周期でソックリそのまま再現する人体実験の被験体であり、ルーティン化された「今日」のスケジュールを繰り返し体験させられている「私」の姿は、さながらタイムループを題材としたSF小説の主人公のようである。

そうしたなか、記憶喪失状態であるにもかかわらず、最終的な推理の結果、「私」は以下の「永劫回帰の地獄」に思い至る。(以下は、『ドグラ・マグラ』のラスト近く、松柏館書店版では732〜733頁あたり)

〈前略〉……いずれにしても今日の午前中、私が色んな書類を夢中になって読んでいるうちに、



おそらく夢野久作は、『ドグラ・マグラ』のページをめくる読者の中に、——若林教授がいうところの——一種の脳髓の地獄<sup>グ</sup>を現出させることを企図して10年もの歳月をかけてこの作品の筆を執っていたのだらう。

本書の第2章で筆者は、ドグラ・マグラが醸し出す<sup>ク</sup>幻魔作用のメカニズム<sup>ム</sup>なるものにメスを入れて、ドグラ・マグラを「探偵小説として普通に読んで謎を解く！」という至極真つ当な切り口から、作品世界に仕掛けられた伏線の回収に挑んでみた。巻末に添付した「ドグラ・マグラの時間の流れの図解」が、ドグラ・マグラを読了後に罹患しがちな<sup>ク</sup>独特な酩酊感<sup>カ</sup>からの快気のキツカケとなれば幸いである。

なお、夢野久作著『ドグラ・マグラ』の<sup>ク</sup>今日<sup>カ</sup>が、本当に<sup>ク</sup>大正十五年の十一月二十日<sup>カ</sup>であったのかについては、本シリーズ三巻目（モーサマの眼とヨコセイの四月馬鹿<sup>エイプリル</sup>…の巻）で謎解きを予定。

『鬼滅の刃はドグラ・マグラ』二巻目（ドグラ・マグラの誕生…の巻）は続刊。

梅乃木彬夫（うめのき あきお）

ドグラ・マグラ研究家。福岡市姪の浜、愛宕下の  
石切場跡地で生まれる。

ウェイト＝スミス版タロットカードのデザインに  
秘められた謎と正四面体地球儀の謎について研究  
している。



二本指スワイプで  
地球儀を操作可能

鬼滅の刃はドグラ・マグラ① ドグラ・マグラの謎を解く…の巻

---

2024年5月20日 初版第1刷発行©

定価はカバーに表示してあります

著者 梅乃木 彬 夫

発行者 米 本 慎 一

発行所 不知火書房

〒810-0024 福岡市中央区桜坂3-12-78

電話 092-781-6962

FAX 092-791-7161

郵便振替 01770-4-51797

印刷／青雲印刷 製本／岡本紙工

---

落丁本・乱丁本はお取替えいたします

Printed in Japan

© akio UMENOKI. 2024.

ISBN978-4-88345-161-6 C0095

梅乃木彬夫著

鬼滅の刃はドグラ・マグラ 全5巻

1 ドグラ・マグラの謎を解く…の巻

第1章 鬼滅の刃を迎えて解く／第2章 迷宮からの脱出

四六判 1800円

2 ドグラ・マグラの誕生…の巻

第1章 夢Qのバックボーン／第2章 襦豆子の竹

四六判 1800円

3 モーサマの眼とヨコセイの四月馬鹿…の巻

エイプリル Fool

\*以下続刊

4 青黛山如月寺縁起(仮)…の巻

5 ユメノ聖地巡礼(仮)…の巻

夢野久作と杉山三代研究会 会報

民ヲ親ニス

1 2号は品切。

3 10号は在庫あり。各号A5判 2000円 2500円

第10号目次から

■第10回研究大会の記録(アジア主義の原理 中島岳志／夢野久作を歩く 杉山満丸／夢野久作「ドグラ・マグラ」草稿残存状況 大鷹涼子／鶴見俊輔「ドグラ・マグラの世界」の戦略性 加藤慶介／杉山茂丸が大日本相撲協会設立に果たした役割 相沢亮) ■特別資料(西の幻想作家——夢野久作のこと——杉山龍丸) \*「九州文学」全12回連載分を初収録。



梅乃木彬夫著

# 鬼滅の刃はドグラ・マグラ

月報 1

2024.5  
不知火書房

随所に散りばめられた新説

竹田 仰

このたび梅乃木彬夫が満を持して書き上げた『鬼滅の刃はドグラ・マグラ』は、これまでに見ない斬新な着眼点からドグラ・マグラの謎解きをした解説本です。しかも、この全5巻のシリーズ本が処女作と聞くから驚きです。4000字詰原稿用紙換算2000枚超の大部の書にも関わらず読みやすいのは、この作品が二人の人物の対話形式で進行するところが大きい。

Iなる人物は、自分をドグラ・マグラの主人公「呉一郎」と信じきっている平成

生まれの患者。数々の推理を語りだす本作の主人公。一方、Wなる人物は、自分を若林鏡太郎と思い込んでいる中年患者で、何かにつけてマンガとドグラ・マグラを関連づけて語る傾向にある。二人は九州大病院の精神科病棟・第七号室に入院中の相部屋患者で、時代は令和となっている。対話の相手として呉一郎と若林鏡太郎というコンビはドグラ・マグラの内情を一番よく知っているので、話を進めるのに無理がない。

シリーズ1巻目では互いに知識を共有するために、かの福岡県立図書館で夢野久作の主な作品を読破したり、映画館で人気アニメ映画『劇場版 鬼滅の刃 無限列車編』を観たりして調査を開始する。こうして、鬼滅の刃との関係性や、ドグラ・マグラの時間経過、入れ子構造の謎解きと続き、第2巻では久作だけでなく杉山家の一族の生き様を丁寧解説していく。

\*

梅乃木は、すこぶるマンガに詳しいので、マンガの話題がしばしば文中に出てくる。鬼滅の刃のヒロイン禰豆子がいつも口に咥えている竹の種類は、真竹、淡竹、孟宗竹の三つのうちどれかというクイズが出る。「ここまで凝るか」と思いき

や、実はドグラ・マグラと繋がるのでナルホドと唸る。

また、章ごとの注解が非常に豊富にあり、これを読むだけでも楽しく、当時の政治、経済、文化、風習、地理など多方面に及んでいる。注釈は通常簡潔に淡々と書かれていることが多いが、梅乃木はより深く、より広げて他の事項とリンクさせて情報に厚みを持たせようと努力している。

\*

第2巻の最後には呉一郎の従妹に当たるモヨ子のことが書かれているが、梅乃木はこのモヨ子には実在のモデルがあつて、久作はこのモヨ子像にある思いを込めたのではと推測している。これは、久作が生前に記した日記（夢野久作の日記）にたった一行、走り書きのように残されたメモから導き出した新説である。文献を丁寧に根気よく読む執念というものを感じる。この実在したモヨ子のモデルのくだりは感動的である。それから分かることは、久作は「やさしい人だ」と思わずにはいられない。このことは、鬼滅の刃の竈門炭治郎にも通じる。

\*

夢野久作こと杉山直樹は小さいときに美しく丸鬘を結った若い女の人に背負われ

て博多駅の開通式に行っている。その煉瓦造りの博多駅の中央には大きな時計台があつて、そこに花火が上がる度に赤や白や青い光がつややかな丸鬚の髪に映えて美しかった。帰るときに時計台の上から大きな丸いお月様が上がって来た——。

このように久作は大きくなってから息子の杉山龍丸に語っている。

この女性は久作の実母のホトリで、梅乃木はこの日の正しい日付を正確に1890（明治23）年9月28日と理由を添えて言及している（これは、シリーズ3巻目に収録予定とのこと）。このとき久作は1歳9ヶ月だった。大人になつても正確に詳細を記憶していたとなると、優れた瞬間記憶能力（カメラアイ）の持ち主だったということだ。ドグラ・マグラ執筆のときにモデルがいたとすると、そのモデルの立ち居振舞い、入院なら部屋の番号や内部の様子などまで正確に書き表わせるだろう。見舞いに行ったときに時計が鳴っていればおそらく、音質や回数も記憶されていたと思われる。そう考えると、ドグラ・マグラはさらに面白くなりそうである。続巻での解説に期待したい。

\*

さて、梅乃木がどうして久作を知り、ドグラ・マグラに引き付けられたかである。

福岡市姪浜生れの梅乃木は通常の移動手段は自転車である。自転車は細い道にも入り込め、駐車も簡単で、市内を探索するのに非常に便利である。2012年、梅乃木は博多の旧市街をサイクリングしていて、電柱に張り付けられた「はかた博物館」と書かれた案内看板に見入った。そこへ、運命というか、すぐ近くの商店の女性から声を掛けられる。

看板はガクブチ店を営む立石武泰が、博多の街のアチラコチラにその場所にゆかりの人物や史実を案内し、街そのものを巨大な博物館にする構想の一環として始めたものである。声をかけたのは、このガクブチ店の奥さんであった。店では、毎月一回「語り部会」を開催し、講師を招いて博多の魅力を広めていた。ここから梅乃木に情報が入って来るようになる。

2014年夏には「ドグラ・マグラの世界」を銅版画家たちが描いた企画展が立石ガクブチ店であり、梅乃木はそこで久作の孫に当たる杉山満丸と初めて会う。さらにドグラ・マグラの自筆原稿の展示にも触発されて、付箋紙を山のように用意して初見のドグラ・マグラに挑戦する。

読了後は、読みながらメモをした用紙類を整理して、作品世界の時間の流れを時

系列化する。その際、主要登場人物一人ひとりの行動や発言内容の詳細まで再考しつつ、キャラクターの言動の矛盾点を炙り出す。それらの資料をまとめたデータをパソコンに打ち込むと、データは約4000行になった。

こうして、2週間ほどでドグラ・マグラの作品世界の時間構造を解説する。その成果を立石ガクブチ店の「語り部会」で初披露する。ここで、私は初めて梅乃木と会った。内容の着眼のよさに感心して、このまま埋もれさせてはもつたいたいと思いい、杉山三代研究会で発表することと、研究会報に携わっている不知火書房に書籍として出版する話を持ちかけた。

\*

2011年4月に、私は九州大学の博物館長を兼務することになったが、そこに「水族館劇場」の桃山邑代表と、私と同学部の津田三朗の二人が、博物館の工作機械倉庫を活用したいと下見に来た。私は、九大に関する劇なら許可出来ると回答した。こうして桃山はドグラ・マグラに着想を得て、『機械仕掛けの糸姫』を書き上げ、2012年2月に上演した。当日は大雪にも関わらず大盛況であった。しばらくして、副館長より久作の孫が「語り部会」で話すと誘いがあった。こうして、4

月に、立石、杉山両氏に初めて会った。

\*

2011年秋には筑紫野市文化会館の手島館長らにより、杉山家代々の人々の事迹の紹介やドグラ・マグラの映画上映、インドの砂漠緑化に挑んだ杉山龍丸についての講演会が行われて大きな反響を得た。これを切っ掛けに2013年3月に「夢野久作と杉山三代研究会」が発足し、第1回大会が開催された。現在、第11回大会まで続いている。

これらの動きは、2011〜13年に集中している。梅乃木も私も久作に全く関わっていないかったのに、何かに導かれるように「夢Qワールド」の中に取り込まれていった。

このたび刊行が始まった梅乃木の著作は、今後、私たちがドグラ・マグラについて語る上で、研究者や愛好家から引用されたり参照されたりして、その論議の拠り所として欠かせない底本のような役割をすると思われる。さらに、難解といわれてきたドグラ・マグラが手抜きをせずに段階を追って分かりやすく説明され、しかも驚くような新説が随所に散りばめられているので、これから初めてドグラ・マグラ

に挑戦する読者にも滞りなくスツキリと読みこなせて、本来久作が企図していた世界最高峰の探偵小説をたんのうしていただくための一助ともなるだろう。また、背景情報としてドグラ・マグラの膨大なデータをデジタル化して解読していることから、今後久作の文章構造などを新たな視点から分析していける可能性もある。

(たけだたかし・夢野久作と杉山三代研究会会長・九州大学名誉教授)

■編集部から 梅乃木彬夫著『鬼滅の刃はドグラ・マグラ』第1巻をお届けします。今回は第2巻と同時刊行です。1巻目でドグラ・マグラの時間の構造を、2巻目では夢野久作の生家・杉山家のファミリーストーリーを追いながら、ドグラ・マグラの誕生の秘密に迫ります。

ここで、私事わたくしごとをひとつ。ドグラ・マグラは文章が華麗で引き込まれて読んでいくうちに、自分がどこを読んでいるのか、次第に分からないような状態に陥ります。私が30数年前に初めて読んだ時がそうで、しばらく時間をおいて3回目に挑戦、意地で最後まで行ったものの、ただただ疲れたという感想しか残りませんでした。

今回、編集に携って、分かった(?) 気になれたのは喜びでした。5巻目にまで辿り着いたら、私も付箋を貼りながら原作に挑戦してみようかと…。(米本)